



今週のPOINT

国内株式市場

日米金融政策会合、国内外主要企業の決算発表、国内政局など注目イベント多い

今週の分析銘柄 - FISCO Selection 8 -

朝日インテック【プライム 7747】ほか

テーマ別分析

参議院選挙で注目の動画配信テーマ

話題のレポート

ROEの改善が見込まれる企業

スクリーニング分析

出遅れ感が強いグロース株に注目へ

今週は米国でFOMCが開催

1	今週の市場見通し	国内株式市場	マーケット概観	3
			新興市場	4
		米国株式市場		5
		為替市場	米ドル/円予想レンジ	6
		債券市場	債券先物・長期国債利回り予想レンジ	6
2	マーケットを読む	今週のポイント		7
		日経平均株価		8
3	今週の分析銘柄	FISCO Selection	H. U. グループHD 〈4544〉 プライム	9
			コニカミノルタ 〈4902〉 プライム	10
			朝日インテック 〈7747〉 プライム	11
			フジシールインターナショナル 〈7864〉 プライム	12
			内田洋行 〈8057〉 プライム	13
			ライフコーポレーション 〈8194〉 プライム	14
			ナレルグループ 〈9163〉 グロース	15
			スマートバリュー 〈9417〉 スタンダード	16
		読者の気になる銘柄	信越化学工業 〈4063〉 プライム	17
			三菱自動車工業 〈7211〉 プライム	17
		テクニカル妙味銘柄	東亜合成 〈4045〉 プライム	18
			全国保証 〈7164〉 プライム	18
4	カテゴリー考察	テーマ別分析		19
		スクリーニング分析		20
		先週の話題レポート		21
		信用需給動向		22
5	連載コラム			
				23

日米金融政策会合、国内外主要企業の決算発表、国内政局など注目イベント多い

■日米関税交渉合意を受け日経平均は一時 42000 円台に上昇

先週の日経平均は週間で 1637.12 円高 (+4.11%) の 41456.23 円で取引を終了。24 日には一時、24 年 7 月以来の 42000 円台にまで上昇した。連休明けの東京市場は、与党自民・公明過半数割れという参議院選挙の結果を受け始まったが、もともと与党の苦戦が想定されていたほか、連立の枠組みによってはむしろプラスになる可能性も意識され、あく抜けムードも強まった。

翌 23 日には、日米関税交渉の合意が伝わり、約 1400 円高の急伸となった。日本に対する相互関税は、これまで示されていた 25% から 15% にまで引き下げられた。また、自動車・自動車部品の関税も 15% まで引き下げられている。早期の関税引き下げのハードルは高いと見られていた自動車関税が引き下げられたことで、市場にはポジティブサプライズが強まった。その後も米国株高などを支援に上値迫りとなったが、さすがに 2 営業日で 2000 円を超える上昇となっていた週末は、利食い売りの動きが優勢で反落となっている。

なお、7 月第 3 週の投資主体別売買動向によると、外国人投資家は現物を 2002 億円買い越しのほか、先物を 400 億円買い越し、合計 2402 億円の買い越しとなった。14 週連続での買い越しとなっている。一方、個人投資家は現物を 1011 億円売り越すなど合計で 1024 億円売り越した。そのほか、信託が合計で 2013 億円売り越した。

■中銀会合、国内外決算発表など注目イベント多い一週間に

先週末の米国株式市場は上昇。ダウ平均は前日比 208.01 ドル高の 44901.92 ドル、ナスダックは同 50.36 ポイント高の 21108.32 で取引を終了した。225 ナイト・セッションは、日中終値比 50 円高の 41410 円で取引を終えた。欧州連合 (EU) に加え、対中通商交渉での合意期待が高まるなど、関税を巡る懸念が緩和した。

新たな関税率が発動予定の 8 月 1 日を前に税率引き下げが織り込まれる形とはなったが、日本の合意内容履行を四半期ごとに調査し、トランプ米大統領が不満を持てば 25% に関税率が戻るなどとも伝わっている。短期的には主にどの点が焦点になるのかなど不透明要素は強く、少なくとも、自動車メーカーなどにとっては設備投資や製品開発などの判断が立てにくい状況に変わりはないだろう。買い戻し一巡後は、関税引き下げを手掛かりとした一段の上値迫りも限定的になると考えておきたい。

今週は、日米で金融政策決定会合が開催されるほか、欧米では 4-6 月期の国内・域内総生産 (GDP)、米国では雇用統計など重要な経済指標の発表も多い。さらには、国内外で主力企業の決算発表も集中する。週末には米国の新たな関税率適用を控えて、米国と各国の交渉結果なども多く表面化することになる

う。さらに、参院選総括の両院議員懇談会、臨時国会召集なども予定され、自民党総裁の石破首相の進退問題などにも焦点が当たってこよう。石破首相が退陣を固辞し続けるようであれば、政局の混迷が増す状況にもなり、リスク要因と捉えられる。

■FRB のハト派化期待などは支援材料に

日米の金融政策決定会合では、ともに今回は政策金利の据え置きが想定されている。ただし、米国では、関税策発動後のインフレ指標の落ち着き、トランプ米大統領の強硬な利下げ要求などから、極めてハト派的なスタンスに変化していく可能性もある。早期利下げへの期待があらためて高まることで、長期金利の低下、グロース株の上昇につながる余地は大きいだろう。

国内ではハイテク株の決算発表が集中する。今週までに発表された決算では、発表後に大幅安となる銘柄も多く、ガイダンスに対する警戒感先行しよう。また、実際に下振れ決算や下方修正などが多く散見される状況も想定される。まだ決算発表前半となる今週は、株価の下押し要因とされる公算。米国でも指数の動きに強く影響する企業の決算発表が予定されている。

米国の利下げ期待の高まりは支援材料となるが、今週の大幅上昇の反動、本格化する企業決算でのガイダンス懸念などから、基本的に今週は上値の重い動きになると想定する。ただし、積極財政派の新首相誕生に期待が高まる形となれば、短期的に日経平均最高値を目指す動きとなる可能性も残ろう。

■日米で金融政策決定会合が開催

今週、国内では、28 日に自民党が参院選総括の両院議員懇談会開催、30 日から 31 日にかけて日本銀行金融政策決定会合、31 日に植田日銀総裁会見、日銀の展望レポート公表、6 月商業動態統計、6 月鉱工業生産、7 月消費動向調査、8 月 1 日に 6 月失業率・有効求人倍率などが発表予定。

海外では、29 日に米・5 月 FHFA 住宅価格指数、5 月 S&P ケースシラー住宅価格指数、6 月 JOLTS 求人件数、7 月コンファレンスボード消費者信頼感指数、30 日に欧・ユーロ圏 4-6 月期国内総生産 (GDP)、7 月消費者信頼感指数、独・4-6 月期 GDP、米・7 月 ADP 雇用統計、4-6 月期 GDP、6 月中古住宅販売成約指数、パウエル連邦準備制度理事会 (FRB) 議長会見、31 日に中・7 月製造業 PMI、7 月非製造業 PMI、欧・6 月ユーロ圏失業率、米・個人所得・個人消費支出・デフレーター、7 月シカゴ購買部協会景況指数、新規失業保険申請件数、8 月 1 日に中・7 月財新製造業 PMI、欧・7 月ユーロ圏消費者物価指数、米・7 月雇用統計、7 月 ISM 製造業景気指数、7 月自動車販売台数などが発表予定。なお、29 日から 30 日にかけて米連邦公開市場委員会 (FOMC) が開催され、8 月 1 日には米政府による貿易相手国に対する新たな関税率適用がスタートする。

決算など個別の材料を手掛かりとした選別物色が続く見通し

■欧州連合と合意ならプライム銘柄にシフトしやすい

今週の新興市場は、決算発表が本格化してくることから、個別の材料を手掛かりとした選別物色が続きそうだ。ただ、8月1日の期限に向けた米国と主要な貿易相手国との関税交渉の行方が注目され、欧州連合（EU）と合意となれば、プライム銘柄にシフトしやすいだろう。

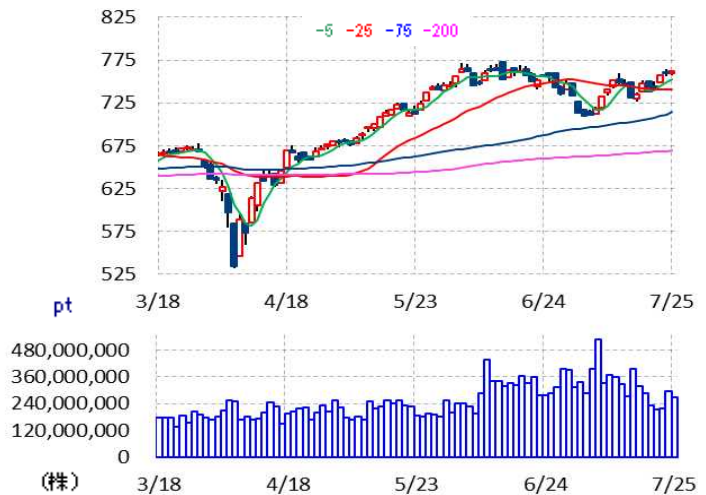
決算は、29日にマクアケ<4479>、サイバートラスト<4498>、リアルゲイト<5532>、30日にSBIレオスひふみ<165A>、31日にシンバイオ製薬<4582>、TDSE<7046>、MTG<7806>、ニフティライフスタイル<4262>、ファンデリー<3137>、ベガコーポレーション<3542>、visumo<303A>、ミクリード<7687>、8月1日にはdely<299A>、コラボス<3908>、ユニフォームネクスト<3566>などが予定されている。

■AI関連に引き続き関心か

そのほか、米トランプ政権は23日、人工知能（AI）の普及を加速させる「AI行動計画」を公表した。先週大きく買われたFRONTEO<2158>などAI関連が引き続き関心が集まりやすいほか、イオレ<2334>やデータセクション<3905>、トリプルアイズ<5026>などAIデータセンター関連なども注目される。

今週のIPOは、29日に山忠<391A>が名証メイン市場に上場する。不動産の企画・開発・販売、不動産の賃貸及び管理、ビジネスホテル運営などを手掛ける。公開価格は2600円。

東証グロース市場 250 指数



マクアケ<4479>



FRONTEO<2158>



EU との通商交渉の行方、FOMC など注目材料多い/米国株式相場 今週の見通し

■先週の動き

先週の米国株は上昇。週間ベースの騰落率は、NY ダウが+1.26%、ナスダックが+1.02%、S&P500 が+1.46%。関税交渉の進展期待が相場を押し上げた。対日通商交渉が合意となったほか、ベッセント財務長官が対中関税交渉も順調に進んでいることを明らかにし、加えて、トランプ政権が欧州連合（EU）と 15%の関税で合意に近いとの報道なども伝わった。週央にかけては一時、失業保険申請件数が 4 月来の低水準となり、労働市場の底堅さが示されたことで利下げ観測が後退、株価が軟化する場面もあったが、週末には再度、EU や中国との通商交渉での合意期待が優勢となった。

個別では、通信会社のベライゾン・コミュニケーションズは、第 2 四半期決算で増収増益、利益と売上高がともに市場予想を上回ったほか、通期業績見通し引き上げが好感され上昇。アップルは、折りたたみ式スマートフォン市場に参入する可能性が報じられ買われた。住宅建設会社の DR ホートンは、四半期決算で受注や 1 株当たり利益が予想を上回ったほか、見通しも予想を上回り急伸した。航空機メーカーのボーイングは、日本が同社航空機 100 機を購入することで合意したことが報じられ材料視された。通信の ATT は、第 2 四半期決算で契約件数が伸び、増収増益を発表し上昇。検索会社のグーグルを運営するアルファベットは、1 株当たり利益が予想を上回って堅調推移となった。

一方、宅配ピザ会社のドミノ・ピザは、第 2 四半期決算で 1 株当たり利益が予想に満たず下落。防衛のロッキード・マーチンは、多額の費用計上で第 2 四半期大幅減益となったほか、通期の 1 株当たり利益見通しの下方修正が嫌気された。自動車メーカーのゼネラル・モーターズは、第 2 四半期決算で調整後の 1 株当たり利益が予想を上回ったが、トランプ政権の関税策の影響で利益が 11 億ドル押し下げられたと指摘し、関税コストが今四半期に一段と響いている可能性を警告し売られた。半導体のテキサス・インスツルメンツは、1 株当たり利益が予想を上回ったが、第 3 四半期の見通しが冴えず、売り優勢となった。電気自動車メーカーのテスラは、調整後の 1 株当たり利益が予想を下回り軟調推移。ヘルスケアのユナイテッドヘルスは、司法省が同社のメディケア（高齢者向け公的医療保険）業務を巡る捜査が行われていることを明らかにし下落。航空会社のアメリカン航空は、第 2 四半期決算で減益、通期見通しを下方修正し売られた。半導体のインテルも、赤字継続決算を受けて週末売られた。

■今週の見通し

今週は連邦公開市場委員会（FOMC）、4-6 月期国内総生産（GDP）や雇用統計、ISM 製造業景気指数など注目される複数の経済指標発表、一段と本格化する主要企業の決算発表、週末の新関税発動を控えた通商交渉の行方など、注視すべきイベントが数多くなっている。株式市場の変動率が高まっていく可能性もあるほか、決算発表を受けての個別物色も活発化することになる。なお、足下の株価推移からみると、関税交渉の進展や金融政策に対して楽観的な見方が相当先行している状況にはあろう。まずは、27 日にも直接協議と伝わるなど、大詰めを迎えている欧州連合（EU）との関税交渉の行方が焦点となる。とりわけ、交渉決裂となった場合のネガティブインパクトは大きくなりそうだ。また、今回の FOMC においては政策金利が据え置かれる公算だが、足下でのインフレの落ち着き、トランプ大統領の強硬な利下げ要請などから、連邦準備制度理事会（FRB）のハト派化が想定される。グロース株への資金シフトが一段と強まることにつながる可能性もあろう。

経済指標は、29 日に 5 月 FHFA 住宅価格指数、5 月 S&P ケースシラー住宅価格指数、6 月 JOLTS 求人件数、7 月コンファレンスボード消費者信頼感指数、30 日に 7 月 ADP 雇用統計、4-6 月期国内総生産（GDP）、6 月中古住宅販売成約指数、パウエル連邦準備制度理事会（FRB）議長会見、31 日に個人所得・個人消費支出・デフレーター、7 月シカゴ購買部協会景況指数、新規失業保険申請件数、8 月 1 日に 7 月雇用統計、7 月 ISM 製造業景気指数、7 月自動車販売台数などが発表予定。なお、29 日から 30 日にかけて米連邦公開市場委員会（FOMC）が開催され、8 月 1 日には米政府による貿易相手国に対する新たな関税率適用がスタートする。

主要企業の決算は、28 日にニューコア、ユニバーサル・ヘルス、29 日にボーイング、キャリア・グローバル、エレクトロニック・アーツ、コーニング、メルク、プロクター・アンド・ギャンブル、ペイパル、ロイヤル・カリビアン・クルーズ、スターバックス、シーゲイト・テクノロジー、ユナイテッドヘルス、UPS、ピザ、テラダイン、30 日にグッドイヤー、イーベイ、マイクロソフト、クアルコム、ウェスタン・デジタル、クラフト・ハイツ、ファーストエナジー、メタ・プラットフォームズ、31 日にアップル、アマゾン・ドット・コム、パイオジェン、フォード・モーター、イルミナ、マスターカード、アレグロマイクロシステムズ、プリストル・マイヤーズ、S&P グローバル、8 月 1 日にシェブロン、モデルナ、エクソンモービルなどが予定されている。

為替市場

米ドル・円 予想レンジ

145.50 円 ~ 150.00 円

今週のドル・円は底堅い値動きか。米連邦準備制度理事会（FRB）と日本銀行は政策金利据え置きの方算で、ドル買い・円売りに振れやすい。米国経済が成長軌道に戻れば、ドル買い材料となる。米FRBは7月29-30日に連邦公開市場委員会（FOMC）を開催し、政策金利の据え置きを決定する見通し。米トランプ政権から利下げ圧力が強まるなか、緩和的政策に慎重な姿勢を示すとみられ、ドル売り拡大の可能性は低いと予想される。

一方、日銀は7月30-31日開催の金融政策決定会合で、追加利上げを見送ると予想される。日米貿易合意で不確実性の払拭により利上げの観測も広がるものの、参議院選挙で野党が勢力を強めており、日銀は早期利上げに消極的とみられる。米国経済の動向も注視される。30日発表の4-6月期国内総生産（GDP）は前期比年率+2.5%と、前回-0.5%から大幅改善が予想される。また、6月のコアPCE価格指数の上昇率は5月実績を上回る可能性もあり、インフレ持続の思惑による米長期金利の上昇を背景にドル買い・円売りがやや強まる展開となりそうだ。

【米・連邦公開市場委員会（FOMC）】（7月29-30日開催予定）

米連邦準備制度理事会（FRB）は7月29-30日に連邦公開市場委員会（FOMC）を開催し、政策金利を据え置く見通し。市場ではすでに織り込み済みで、ドル買い地合いも上昇は限定的とみられる。

【米・4-6月期国内総生産（GDP）速報値】（7月30日発表予定）

7月30日発表の米4-6月期国内総生産（GDP）速報値は前期比年率+2.5%と強い内容が予想され、市場予想と一致、または上回った場合はドル買い要因となる。

債券市場

債券先物予想レンジ

137.20 円 ~ 137.80 円

長期国債利回り予想レンジ

1.560 % ~ 1.610 %

■先週の動き

先週（7月22日-25日）の債券市場で10年債利回りは強含み。米トランプ政権の関税交渉が、日本との合意に加えて欧州連合（EU）とも前進との報道を受け、世界経済への懸念が後退し、安全逃避的な債券買いは縮小。日本銀行による年内利上げの可能性が再浮上したことも長期債利回りの上昇につながった。ただ、財政悪化に対する過度な警戒感は低下し、一部で押し目買いも観測された。

10年債利回りは強含み。1.542%近辺で22日の取引を開始し、一時1.498%近辺まで低下したが、週後半にかけて1.616%近辺まで上昇し、1.605%近辺でこの週の取引を終えた。

債券先物は弱含み。138円41銭で22日の取引を開始し、短期筋などから調整的な買い戻しが入ったことで一時138円71銭まで上昇したが、中期的な財政拡大の懸念が消えていないことや株高を意識した売りが増えたことから反落。週後半にかけて下げ幅を拡大し、25日午後の取引で137円32銭まで一段安となり、137円43銭でこの週の取引を終えた。

■今週の見通し

今週（7月28日-8月1日）の債券市場で長期金利は伸び悩む可能性がある。日米関税交渉の合意を受けた金利上昇は一服するとの見方が多いようだ。市場参加者の間では日本銀行による年内追加利上げ観測が再浮上しているが、早期利上げの必要性は高まっていないとの声も聞かれている。国内インフレ緩和の思惑で10月利上げ観測が後退した場合、10年債利回りは伸び悩む見込み。日米関税合意は年内利上げのサポート要因になり得るものの、多くの国はまだ交渉中のため、グローバル経済の先行き不透明感は払拭されていない。国内でも補正予算や来年度予算で財政拡張が議論されるケースも想定されており、一部の参加者は「追加利上げの是非を巡って、日銀による早期利上げに対する政治圧力がかかる可能性は否定できない」と指摘している。

債券先物9月限は主に137円台半ばを挟んだ水準で推移し、もみ合う状態が続く見込み。財政拡張への懸念は多少緩和されたが、国内外の株高や為替相場の円安進行を意識して、ポジション調整的な売りが一時的に強まる可能性がある。

国内外で重要イベント多く、日々の株価変動リスクに注意必要

先週の日経平均は大幅続伸。参院選は与党過半数割れの結果となったが、事前想定通りでネガティブ反応は限られた。一方、日米関税交渉が合意となり、週央にかけて日経平均は一時42000 円台にまで上昇。特に、自動車関税も同様に 15%まで引き下げられたことがポジティブサプライズにつながった。23 日には主要自動車株が一斉高、総じて 10%超の上昇となった。業種別では全面高、とりわけ、日米合意で日銀の利上げ期待が高まったことから、銀行セクターが上昇率トップ。輸送用機械をはじめ、非鉄金属、機械など景気敏感セクターも買われた。週初には、関西電力が原発新設に向けた調査を実施と伝わり、三菱重工を筆頭とした原発関連、電力株などが上昇している。

個別では、本格化する 4-6 月期の決算発表も手掛かり材料となった。主力処では、大幅減益見通しを発表した信越化学、第1 四半期が想定以上の大幅減益となった三菱自動車の下げが目立った。ほか、キヤノン、アルインコ、航空電子なども決算が嫌気される。一方、KOA、ブロンコビリー、信越ポリマー、キヤノン MJ、オービック、ニデックなどは決算好感の動き。ほか、米 DR ホートンの好決算を受けて住友林業には連想買い。日米がアラスカ産 LNG 開発に向けた合弁展開と伝わり、日揮などにも買いが向かう。マネーフォワードはアクティビストの大量保有が手掛かり。ヒト・コムHD、タマホームなどは株主還元拡充が材料視される。半面、新株予約権や CB 発行に伴う希薄化懸念でソディックが下落。トランザクションも株式売出で需給悪化懸念が先行。

今週はイベントが極めて豊富な週となる。国内外で 4-6 月期決算発表が一段と本格化するほか、日米で金融政策決定会合が開催される。また、欧米での GDP 発表や米雇用統計など重要な経済指標も多い。さらに、8 月 1 日の新たな関税率導入を控えて、米国と各国の通商交渉の行方も注目されるほか、国内でも政界再編の動きが進む余地があるだろう。

まずは、米国と EU の関税交渉が焦点となつてこよう。足元では期待感が先行しているとみられ、とりわけ、交渉決裂の場合はネガティブサプライズにつながる可能性が高い。一方、FOMC では FRB のハト派化が進む可能性は高く、グロース株の支援材料につながるとみられる。また、日銀が新たな早期利上げに向けた材料を提示しなかった場合、先週買い優勢となった銀行株には反動の余地も出てこよう。なお、先週高騰した自動車株に関しては、目先の買い戻し一巡感の中、決算発表を控えて慎重なムードが強まる余地ありとみる。

28 日には、塩野義、日東電工、29 日にはキーエンス、アドバンテスト、NEC、コマツ、JR 東海、野村、30 日には武田、富士通、OLC、村田製、パナソニック、アステラス、カプコン、関西電、JPX、31 日には日立、三井住友、東京エレクト、みずほ、三菱電、第一三共、デンソー、イオン、JR 東、住友電、SBI、商船三井、8 月 1 日には任天堂、伊藤忠、三井物、KDDI、TDK、日本製鉄が決算発表予定。海外企業では、ボーイング、アーム、マイクロソフト、アップル、アマゾンなどが特に注目されよう。

先週動いた銘柄・セクター（東証プライム）

上昇率上位銘柄				下落率上位銘柄				業種別騰落率	
コード	銘柄	終値（円）	騰落率（%）	コード	銘柄	終値（円）	騰落率（%）	上位セクター	騰落率（%）
7250	太平洋工業	1,761.0	28.17	4784	GMOインターネット	1,611.0	-18.39	銀行業	8.83
1518	三井松島ホールディングス	6,650.0	26.19	8798	アドバンスクリエイト	285.0	-13.11	輸送用機器	8.30
6999	K O A	1,020.0	21.86	5344	M A R U W A	42,900.0	-9.82	非鉄金属	6.45
3994	マネーフォワード	6,011.0	20.78	6143	ソディック	881.0	-9.64	機械	6.38
9229	サンウェルズ	794.0	17.98	6095	メドピア	698.0	-7.92	海運業	5.08
6330	東洋エンジニアリング	1,230.0	17.03	3608	T S I ホールディングス	1,048.0	-7.67	鉄鋼	4.88
3902	メディカル・データ・ビジョン	514.0	16.82	9722	藤田観光	10,810.0	-7.21	精密機器	4.83
4433	ヒト・コミュニケーションズ・ホールディングス	1,132.0	14.46	2471	エスプール	315.0	-6.53	下位セクター	騰落率（%）
7270	S U B A R U	2,842.0	12.76	7513	コジマ	1,247.0	-6.45	食料品	0.36
6506	安川電機	3,229.0	12.31	6436	アマノ	4,271.0	-5.90	空運業	0.55
8308	リソナホールディングス	1,443.0	11.73	6920	レーザーテック	16,450.0	-5.87	水産・農林業	0.76
7261	マツダ	943.7	11.59	3903	g u m i	612.0	-5.70	その他製品	1.12
6619	ダブル・スコープ	243.0	11.47	6047	G u n o s y	698.0	-5.68	陸運業	1.69
7011	三菱重工業	3,575.0	11.34	6740	ジャパンディスプレイ	17.0	-5.56	情報・通信業	1.83
5706	三井金属鉱業	5,826.0	10.89	6361	荏原製作所	2,805.0	-5.41	化学工業	2.08

堅調、週足一目均衡表は三役好転完成

■値動きはやや荒くなる方向か

先週（7月22-25日）の日経平均株価は2週連続で上昇した。1週間の上げ幅は1637.12円（前週249.43円）だった。

東証と大阪取引所の投資部門別売買状況では、現物・先物合算で海外投資家は7月第3週（7月14日～7月18日）、買い越しを継続し（2402億円、前週は9503億円買い越し）、現物も買い越しを継続した（2002億円、前週は4003億円買い越し）。

先週の日経平均は上値抵抗帯として作用してきた4万円処を上放れ、24日には42065.83円まで上値を伸ばして今年最高値を更新した。この間、株価下方を走る25日移動平均線は上昇角度を増し、アップトレンドが一段と鮮明になった。

今週の日経平均は堅調が予想される。上向きの25日線や13週線が短中期的な上昇基調の強まりを窺わせている。先週は52週線が上向きに転じたほか、週足一目均衡表では遅行線の強気シグナル発生で三役好転の強気パターンが完成したこと、中長期ベースの上昇局面入りが予想される。

先週末終値が25日線を上回る銘柄は、日経平均採用225銘柄で183銘柄（先々週末7月18日は133銘柄）、東証プライム市

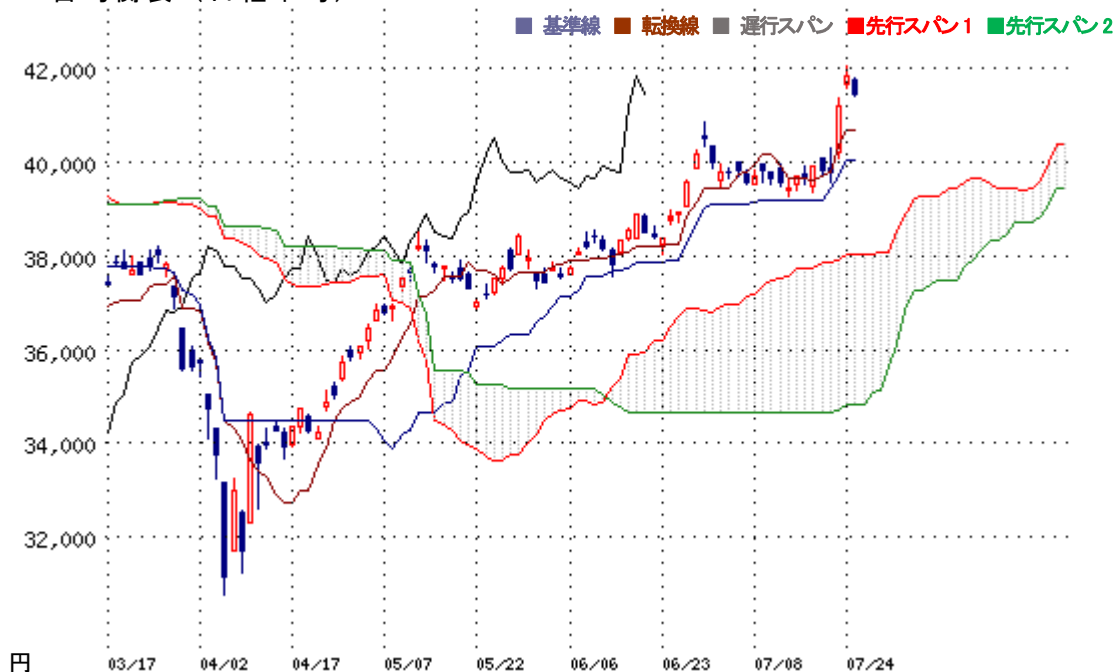
場全体で83%（同66%）と大幅に増加。このため、大勢強気の中ではあるが、短中期投資家の利益確定売りが一旦強まる場面もありそうだ。

ボリンジャーバンド（25日ベース）では23日に+2σを突破。週末25日終値は+2σを上回り、上値拡張の継続を示唆した。1σ相当の値幅は先週末803.62円（先々週末18日は620.16円）に広がって-2σから+2σ各線が中心線から離れる「5本線発散」に入っており、値動きはやや荒くなる方向にありそうだ。

先週末のプライム市場の騰落レシオ（25日ベース）は124.08%と買われ過ぎの120%を2日連続で上回っているが、25日線との上方乖離率は4.15%と5%ラインを下回って上値余地を窺わせている。

上値では、先週高値42065.83円や昨年7月11日の史上最高値42426.77円が上値目標として意識され、高値更新後は25日線比8%高（先週末終値で42989.28円）に向けて歩を進めよう。下値では今年7月22日安値から24日高値までの半値押し40826.18円までの下落であればスピード調整と位置付けられ、同水準を下回ると値固めのため日柄が必要となろう。

一目均衡表（日経平均）



H.U. グループホールディングス〈4544〉プライム

臨床検査薬と検査サービスなど手掛ける、今期営業利益は前期比 3.0 倍予想

■エスアールエルと富士レビオが経営統合して発足

受託臨床検査のエスアールエルと臨床検査薬事業の富士レビオが 05 年に経営統合。20 年にみらかホールディングスから現社名に社名変更した。社名の「H.U.」は、「Healthcare for You」を表したもの。売上高の 63%を占める検査・関連サービス事業は、全国の医療機関から検体を預かり、22 年より稼働した世界最大規模の「H.U. Bioness Complex」をはじめとする検査ラボラトリーで各種検査を行う。臨床検査薬事業は売上高の 25%で、アルツハイマー病関連など神経疾患（ニューロロジー）領域などの検査試薬を手掛ける。このほか、院内・院外滅菌や医療機器保守点検、福祉用具レンタル卸、在宅医療・介護事業なども行う。

■収益性改善施策が奏功

25 年 3 月期売上高は 2430.25 億円（前期比 2.6%増）、営業利益は 26.40 億円（前期は 40.43 億円の赤字）。収益性改善施策の効果が徐々に発現した。26 年 3 月期通期売上高は 2520.00 億円

売買単位	100 株
7/25 終値	3251 円
目標株価	3770 円
業種	サービス

（前期比 3.7%増）、営業利益は 80.00 億円（同 3.0 倍）予想。新規パートナーへの試薬・原料出荷や、検査・関連サービス事業での収益性改善施策（検査オペレーションの改善）などが寄与すると見ている。株価は堅調だ。21 年高値 3770 円を目標株価としたい。

★リスク要因

医療機関の経営状況の悪化や医療費の削減要請など。

4544: 日足

高値圏で底堅く推移。



(百万円)

会計期	売上高	前期比	営業利益	経常利益	前期比	当期利益	1株益(円)
2022/3連	272,944	22.4%	50,490	47,422	86.3%	29,599	519.55
2023/3連	260,908	-4.4%	23,381	22,010	-53.6%	15,676	275.52
2024/3連	236,950	-9.2%	-4,043	-7,241	-	-7,553	-
2025/3連	243,025	2.6%	2,640	4,742	-	2,761	48.60
2026/3連予	252,000	3.7%	8,000	6,000	26.5%	5,500	96.80

コニカミノルタ〈4902〉プライム

複合機や印刷機が世界で存在感、今期利益は大幅改善予想

■小西六やミノルタの流れを汲む名門企業

写真用フィルム「さくらカラー」の小西六、一眼レフカメラ「αシリーズ」のミノルタの流れを汲む名門企業。現在の売上高は、カラー複合機やITサービスなどの「デジタルワークプレイス」が55%を占め、印刷機などの「プロフェッショナルプリント事業」が25%、計測機器や機能性フィルムなどの「インダストリー事業」が11%、X線画像診断システムやネットワークカメラなどの「画像ソリューション事業」が9%となっている。A3 カラー複合機やカラーデジタル印刷機は世界約40カ国でトップクラスのシェア(1位か2位)、光源色計測装置は世界のディスプレイ計測機器でシェア5割以上を占めるなど、各分野とも世界レベルで存在感を示す。

■事業の選択と集中・構造改革進む

25年3月期売上高は1兆1278億円(前期比1.8%増)、営業損益は640億円の赤字(前期は275億円の黒字)。経営改革に伴

売買単位	100 株
7/25 終値	472.4 円
目標株価	672.5 円
業種	電気機器

う減損損失など一過性費用を計上した。26年3月期通期売上高は1兆500億円(前期比6.9%減)、営業損益は480億円の黒字予想。事業の選択と集中、為替影響により減収予想だが、構造改革の効果などにより利益は大幅改善を見込む。株価は下値の堅い展開となっている。年初来高値672.5円を目標株価としたい。

★リスク要因

米トランプ政権の通商政策の不透明感など。

4902: 日足

売りをこなしながらの上昇に期待。



(百万円)

会計期	売上高	前期比	営業利益	経常利益	前期比	当期利益	1株益(円)
2022/3連I	911,426	5.6%	-22,297	-23,617	-	-26,123	-
2023/3連I	1,130,397	24.0%	-95,125	-101,872	-	-103,153	-
2024/3連I	1,107,705	-2.0%	27,543	15,334	-	4,521	9.15
2025/3連I	1,127,882	1.8%	-64,014	-79,156	-	-47,484	-
2026/3連I予	1,050,000	-6.9%	48,000	-	-	24,000	48.58

朝日インテック〈7747〉プライム

カテーテル治療機器が主力、一貫生産体制を強みとし世界で高シェア

■主力製品のガイドワイヤーは世界シェア50%超

ステンレスワイヤーを手掛ける。手首や足の付け根から細い管を挿入し、狭くなった血管を広げるカテーテル治療に用いるガイドワイヤー、貫通カテーテル、ガイディングカテーテルなどの医療機器が主力。同社は1976年に医療機器に進出したが、それまでは極細ステンレスロープを製造する町工場。ここで培った技術力が活かされ、素材から製品に至るすべてを賄うことができる一貫生産が可能となり、現在、同社の強みとなっている。主力製品であるガイドワイヤーは、110を超える国と地域に展開し、日本、欧州、中国、米国でトップシェア。世界でも50%を超えるシェアを獲得している。

■25年6月期営業利益は30.4%増予想

25年6月期第3四半期売上高は918.15億円(前年同期比13.7%増)、営業利益は257.15億円(同30.8%増)。全地域で市場シェアが継続的に拡大。主力の循環器系領域の伸長に加え、

売買単位	100 株
7/25 終値	2400.5 円
目標株価	2800 円
業種	精密機器

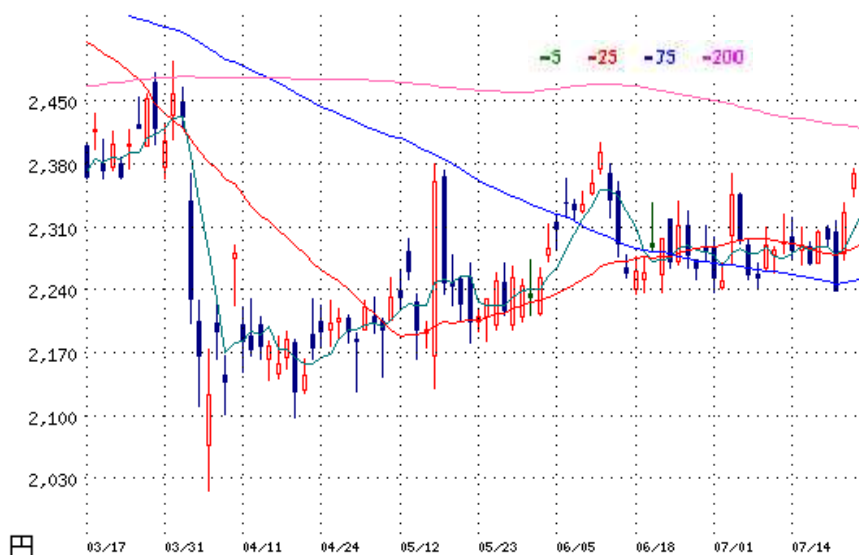
非循環器領域でも高く評価され、好調に推移している。25年6月期通期売上高は1191.60億円(前期比10.8%増)、営業利益は288.59億円(同30.4%増)予想。収益積み上げは順調のようだ。株価はやや上値が重い下値の堅い展開となっている。年初来高値2800円を目標としたい。

★リスク要因

円相場の急激・大幅な変動など。

7747:日足

保合い上放れの動きか。



(百万円)

会計期	売上高	前期比	営業利益	経常利益	前期比	当期利益	1株益(円)
2021/6連	61,507	8.8%	12,795	13,196	7.2%	9,984	38.25
2022/6連	77,748	26.4%	15,239	16,326	23.7%	10,857	40.01
2023/6連	90,101	15.9%	18,030	17,635	8.0%	13,106	48.25
2024/6連	107,547	19.4%	22,135	21,968	24.6%	15,808	58.20
2025/6連予	119,160	10.8%	28,859	28,987	32.0%	11,314	41.66

フジシールインターナショナル〈7864〉プライム

シュリンクラベルのグローバルニッチトップ、PBR1.5 倍以上を目指す

■今期も増収増益を見込む

軟包装・ラベルを主力としたパッケージングソリューションのリーディングカンパニー。海外売上比率は約51%。「シュリンクラベル」は国内外で極めて高い製品シェアを有する。25年3月期売上高は前期比8.0%増、営業利益は同41.6%増と過去最高を更新した。主に既存事業の伸長に加えて、海外子会社の円安による為替影響もあったほか、全地域で増収増益と収益性の改善も寄与した。26年3月期も増収増益を見込む。既存4事業の着実な強化、製品マーケット・ターゲットエリアの拡大などに取り組むことで、持続的な企業価値の向上に努める。

■収益性と還元性を両立するグローバルニッチトップ

株価は4月の急落以降、上昇基調で推移している。連結配当性向の目標は30%。加えて、直近のROEは8.8%と改善しており、中期経営計画において掲げる「ROE10%以上」の目標水準に

売買単位	100 株
7/25 終値	2819 円
目標株価	3000 円
業種	その他製品

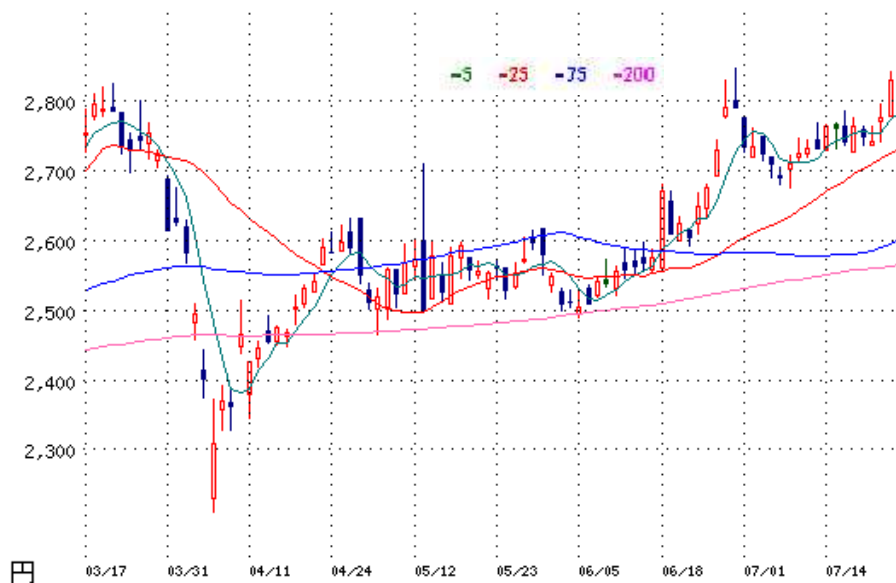
近づいている。30年度までに、売上高3500億円以上、営業利益率2桁%、PBR1.5倍以上を目指す収益性と還元性を両立するグローバルニッチトップとして注目したい。21年9月付近の高値を超えて新高値を形成。次の目標株価は節目の3000円への達成に期待したい。

★リスク要因

為替、原料コスト高など。

7864:日足

25日線・75日線ともに上向きに転じる。



(百万円)

会計期	売上高	前期比	営業利益	経常利益	前期比	当期利益	1株益(円)
2022/3連	170,321	4.1%	10,572	10,600	-12.4%	6,117	111.70
2023/3連	184,035	8.1%	8,194	8,426	-20.5%	6,869	125.43
2024/3連	196,624	6.8%	13,309	14,732	74.8%	10,277	187.77
2025/3連	212,345	8.0%	18,844	18,323	24.4%	12,199	224.93
2026/3連予	216,000	1.7%	19,400	19,700	7.5%	17,300	322.49

内田洋行〈8057〉プライム

今期業績は上方修正、中計は利益面で前倒し達成見込み

■26年度はGIGAスクール端末更新需要本格化

オフィス家具における国内大手であり、学校向け備品や教育システムに強みを持つ。25年7月期第3四半期売上高は2342.88億円(前年同期比16.6%増)、営業利益は117.94億円(同25.9%増)と2桁増収増益で着地した。公共分野において、自治体システム標準化対応やGIGAスクール構想による一人一台端末整備の更新事業で25年度先行納入が始まった。通期売上高は前期比17.7%増、営業利益は同26.3%増と、売上高・営業利益ともに過去最高を更新する見込み。教育ICTや自治体ネットワーク構築の需要は高水準で推移している。

■利益面は中計前倒し達成

株価は年初来高値を更新しており、25日移動平均線に沿って推移している。第17次中計では、27年7月期の売上高は3400億円、営業利益115億円超を達成目標として掲げているが、営業

売買単位	100 株
7/25 終値	10220 円
目標株価	11000 円
業種	卸売

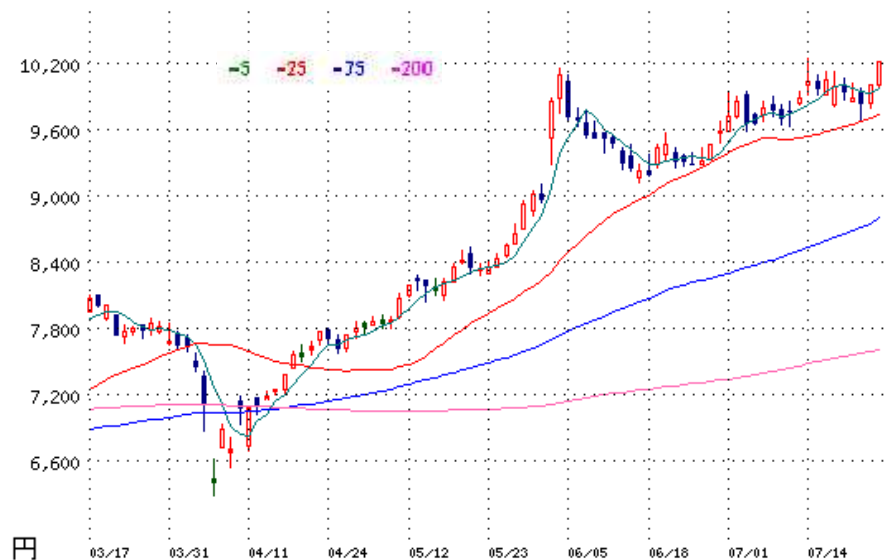
利益は今期に達成する想定。同社はグループ全体で、最適な組み合わせのためにシステムの共通化・データの見える化・相互人的交流の増大と、SE のノウハウ・スキルを共有している。業績好調な中、良好なマーケット環境を横目に、目先の目標株価は最高値を超える水準11000円とする。

★リスク要因

社内投資に対する効果発現の遅れなど。

8057: 日足

25 日線に沿って上昇基調継続。



(百万円)

会計期	売上高	前期比	営業利益	経常利益	前期比	当期利益	1株益(円)
2021/7連	291,035	45%	10,363	11,018	40.6%	6,160	628.69
2022/7連	221,856	-23.8%	7,890	7,843	-28.8%	4,477	455.87
2023/7連	246,549	11.1%	8,436	9,161	16.8%	6,366	647.35
2024/7連	277,940	12.7%	9,345	10,135	10.6%	6,996	710.86
2025/7連予	327,000	17.7%	11,800	12,700	25.3%	8,600	872.92

ライフコーポレーション〈8194〉プライム

堅調な企業成長続く、株主還元強化にも注力

■惣菜部門の高い商品開発力

首都圏と近畿圏を地盤とする食品スーパーマーケットの大手企業。小売事業が中核をなし、その強みは顧客ニーズに合わせて開発された多層的なプライベートブランド(PB)戦略にある。需要が定着したネットスーパー事業や、業界でも評価の高い惣菜部門の商品開発力も定評。26年2月期第1四半期売上高は前年同期比4.8%増、営業利益は同11.9%増と好調なスタートを切った。26年2月期通期売上高は前期比4.1%増、営業利益は同1.7%増と、増収増益見込みで、既存店の成長が中心となる。足下の進捗状況は堅調である一方、今期業績予想は慎重な内容となっている。

■積極的な株主還元策や資本効率改善

株価は直近1年で上昇基調を維持、25日移動平均線・75日線・200日線ともに上向き基調を継続。中期経営計画では、30年度に売上高1兆円、経常利益350億円、店舗数400を掲げる。

売買単位	100 株
7/25 終値	2397 円
目標株価	2600 円
業種	小売

施策では、同質化競争からの脱却のため、BIO-RAL 事業の拡大や DX 投資を着実に進めている。そのほか、株主還元では、配当性向 30%を目安として株主優待も新設。堅調な企業成長が続く中、中長期投資に資する銘柄として注目し、過去最高値付近2600円への到達に期待したい。

★リスク要因

インフレ急進など。

8194:日足

25日線・75日線・200日線ともに上向き基調継続。



(百万円)

会計期	売上高	前期比	営業利益	経常利益	前期比	当期利益	1株益(円)
2022/2連	768,335	1.2%	22,932	23,695	-15.8%	15,208	324.50
2023/2連	765,426	-0.4%	19,148	20,015	-15.5%	13,327	284.35
2024/2連	809,709	5.8%	24,118	24,948	24.6%	16,938	360.93
2025/2連	850,496	5.0%	25,270	26,205	5.0%	17,948	390.22
2026/2連予	885,000	4.1%	25,700	26,500	1.1%	18,000	208.05

ナレルグループ〈9163〉グロース

若手・未経験に着目した技術者派遣会社、市場シェア 3.3%と成長余地大きい

■派遣しながら育成する技術者派遣会社

建設業・IT 業界向けの技術者派遣・システムエンジニアリングサービスの提供を主な事業として取り組んでいる。売上の約 9 割が建設ソリューション事業、約 1 割が IT ソリューション事業となっている。技術者派遣会社ながら、若手・未経験に着目し、派遣しながらの育成に注力している点が特徴。また、最近は建設 DX など新規サービスの推進支援にも力を入れている。25 年 10 月期は売上収益 256.50 億円(前期比 18.7%増)、営業利益 33.10 億円(同 6.4%増)と過去最高を更新する見込み。

■市場シェアはまだ 3.3%程度で成長余地大きい

建設業界は慢性的な人手不足にあり、同社事業にとって追い風の状況は続いているよう。ただ、上期の採用人数や稼働数は想定や前年同期を下回り、鈍化している印象。採用面に関しては、第 3 四半期以降で改善傾向がみられており、現在採用増加に向けてアプローチを進めている最中という。同社の市場シェア

売買単位	100 株
7/25 終値	2307 円
目標株価	2700 円
業種	サービス

は現在 3.3%程度となっており、まだ市場の寡占化も起きておらず、改善策が奏功すれば成長余地は大きいとみられる。現在の株価は 7 月 25 日終値水準で PER8.6 倍と競合他社に比べ割安感があり、まずは 25 年 10 月期予想 PER10 倍水準となる 2700 円を目標とする。

★リスク要因

想定以上の採用難など。

9163: 日足

先週後半に 75 日線を上放れ。



(百万円)

会計期	売上高	前期比	営業利益	経常利益	前期比	当期利益	1株益(円)
2021/10連I	12,125	-	1,758	1,594	-	1,043	127.07
2022/10連I	14,540	19.9%	2,039	1,852	16.2%	1,242	150.58
2023/10連I	17,994	23.8%	2,469	2,475	33.6%	1,741	209.88
2024/10連I	21,608	20.1%	3,110	3,059	23.6%	2,187	255.16
2025/10連I予	25,650	18.7%	3,310	3,220	5.3%	2,330	267.15

スマートバリュー〈9417〉スタンダード

GLION ARENA KOBE が4月に開業、将来を見据えた組織再編が進行中

■GLION ARENA KOBEが4月に開業

28年に創業100周年を迎える。現在は、デジタルガバメント事業、モビリティ・サービス事業、スマートベニュー事業の3本を柱として事業を展開。今年4月に神戸ウォーターフロントに「GLION ARENA KOBE(ジーライオンアリーナ神戸)」を開業。スマートベニュー事業においては、自治体向けの公募調達でのクラウドサービス提供事業をウイングアーク1st<4432>へ譲渡し、スマートシティモデルを民間主導で公共と連携しながら推進する方向へ舵を切る予定であり、持株会社体制への移行も検討している。

■スマートベニュー事業への期待感続くか見極め

7月16日に25年6月期通期業績予想の修正を発表。既存クラウドサービスの受注減少や貸館事業のキャンセル等に伴う稼働率低下を理由に、売上高を従来予想比12.24億円減(21.8%減)に下方修正した。また、GLION ARENA KOBE 開業における開業時費用の増加などで、営業・経常利益は黒字転換予想から一転、前期から赤字幅拡大となり、発表後は失望売りを誘う形に。た

売買単位	100 株
7/25 終値	389 円
目標株価	450 円
業種	情報・通信

だ、最終利益に関しては株式譲渡益を計上したことから、従来予想を上回っている。スマートベニュー事業は新規事業につき、上下に振れる可能性については経営陣が言及していたが、まずは次回8月14日予定の決算発表で投資家の信頼を回復できるか確認したい。とはいえ、株価はPER4倍台と割安感が強く、ひとまず450円を目標とする。

★リスク要因

競合他社との競争激化など。

9417:日足

75日線・200日線は上向きキープ中。



(百万円)

会計期	売上高	前期比	営業利益	経常利益	前期比	当期利益	1株益(円)
2021/6連	3,446	-42.2%	-605	-580	-	-1,407	-
2022/6連	3,805	10.4%	-15	8	-	1	0.11
2023/6連	3,873	1.8%	-74	-75	-	-48	-
2024/6連	3,814	-1.5%	-308	-312	-	-348	-
2025/6連予	4,385	15.0%	-462	-755	-	884	85.11

信越化学工業 プライム〈4063〉／予想外的大幅減益ガイダンスで株価急落

先週末は大幅反落。24日に第1四半期の決算を発表、営業利益は1668億円で前年同期比12.7%減となり、市場予想は100億円程度上回ったとみられる。一方、今回公表した26年3月期通期予想は6350億円で前期比14.4%減の見通しとしている。コンセンサスは7400億円程度であったため、想定外の2ケタ減益見通しとなる形に。生活基盤材料セグメントの悪化を見込んでいるもよう。なお、シリコンウエハーに関しては想定よりも堅調推移との見方になっている。

為替前提を1ドル=140円と設定していること、第1四半期が市場予想を上振れていることなどから、会社側のガイダンスは極めて保守的とみられる。生活基盤材料に関しても、今後は米国の利下げによる住宅向け塩ビの改善が見込めよう。目先の悪材料は出尽くし感、75日線レベルは押し目買いの好機と考えたい。



三菱自動車工業 プライム〈7211〉／第1四半期は想定以上の大幅減益決算に

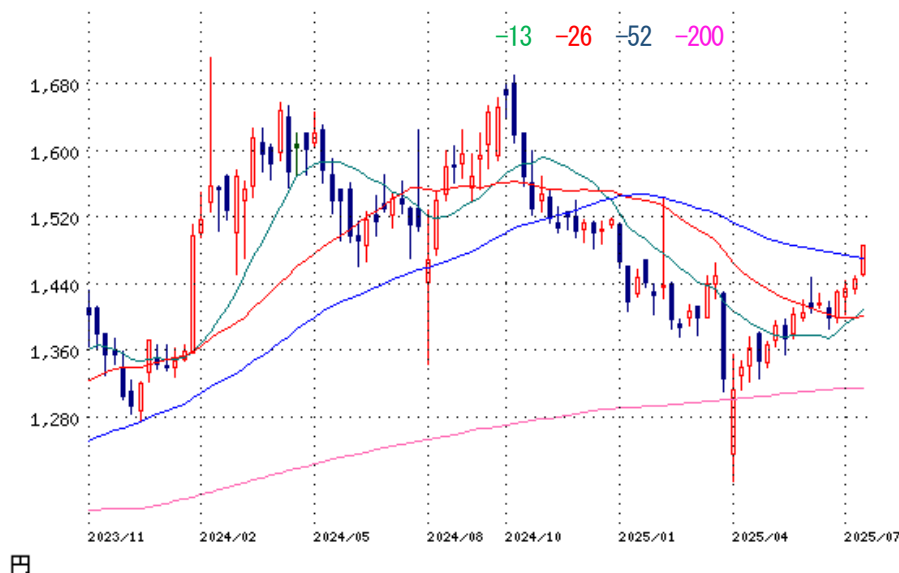
先週末は大幅反落。24日に第1四半期の決算を発表、営業利益は56億円で前年同期比84.1%の大幅減益となり、130億円程度であった市場予想も大きく下回る水準に。通期予想の1000億円、前期比28.0%減は据え置いているが、下振れが意識される状況とみられる。米国での関税支払額などが重しとなっているほか、米国関税政策に伴う他地域での競争激化も進んでいるもよう。自動車関税引き下げで直近急伸した反動も強まる形に。

自動車関税に関しても、今後あらためて税率引き上げの懸念が高まる可能性はあり、投資計画などが策定しにくい状況は続くものとみられる。米国での利下げが意識される中で、一段の円安進行も期待しにくいだろう。短期的な買い戻しも一巡とみられる中、今後の業績下方修正余地が大きい現状からは、目先のナリバウンドは期待しにくいと考える。



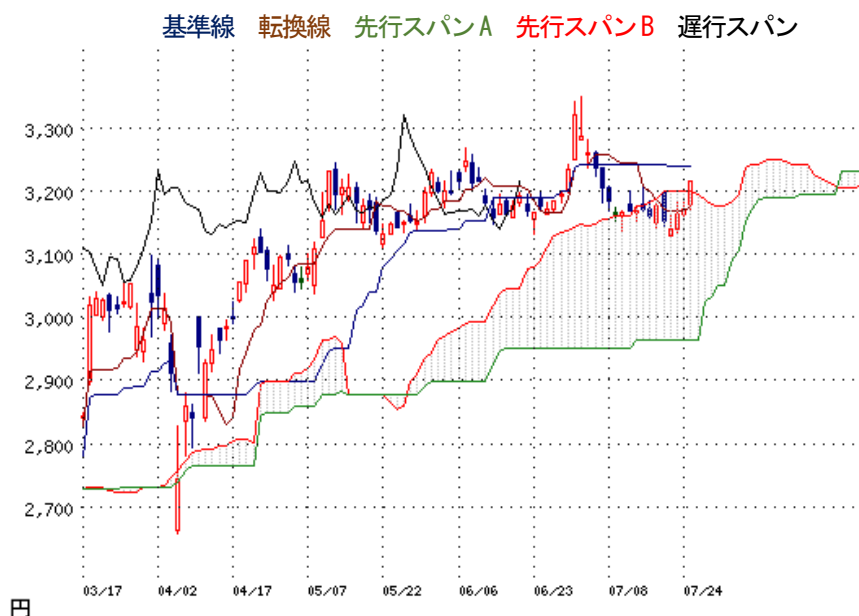
東亜合成 東証プライム〈4045〉

週足ベースのローソク足。4週連続高となった先週は、高値、安値、終値をそろって切り上げる「赤三兵」を2週連続で示現して上値追いの勢いの強さを窺わせた。終値が昨年10月以来9カ月ぶりに52週移動平均線を上回って買い手優位の度合いが鮮明になったほか、52週線下方では13週線が26週線を上抜いてゴールデンクロスを示現しており、中長期ベースの強気相場開始が予想される。



全国保証 東証プライム〈7164〉

日足ベースの一目均衡表。先週末はローソク足が4本連続陽線で終了。上ヒゲのない陽の大引け坊主で強い買い気を窺わせるとともに、終値が雲上限を突破して地合い好転を確認する形となった。遅行線が強気シグナル発生を開始したほか、株価下方では下降基調にあった転換線が上向いて短期的な調整完了を示唆しており、7月2日高値3350円奪回に向けた騰勢の強まりが期待できよう。



テーマ別分析: 参議院選挙で注目の動画配信テーマ

■動画配信による訴求力で少数政党に注目集まる

7月20日の参議院選挙では、与党が過半数割れとなった一方、少数政党の躍進が大きなニュースとなった。その少数政党の議席増のきっかけの1つとなったのが、ユーチューブなどでの動画配信による政策配信だったとみられている。今回の参院選での動画配信による訴求力が、次の国政選挙にとどまらず、ビジネス面でも注目度が高まってきそうだ。動画配信ビジネスは、ライブなどのエンタテインメントやスポーツ、イベントの集客や告知、企業の販促活動などで利用され、動画専門サイトも複数立ち上がっている。アマチュアが個人で参加できることも特徴だ。地上波テレビ局やブイチューバー事業を展開する企業群も動画配信事業を展開しているが、動画サイトや配信技術を持つ関連銘柄に物色の裾野が広がっていく期待がある。

■主な「動画配信」関連銘柄

コード	銘柄	市場	7/25 株価 (円)	概要
2121	MIXI	プライム	3480	カラオケ・ライブ配信コミュニティアプリ「カラスト」展開
299A	dely	グロース	1897	料理レシピ動画アプリ「クラシル」など展開、好業績持続
3040	ソリトンシステムズ	プライム	1393	動画配信システム構築とプラットフォーム事業を展開
3661	エムアップホールディングス	プライム	2121	ファンサイト事業でアーティスト動画配信、株価最高値圏
3793	ドリコム	グロース	566	ユーザーが自発的に投稿する動画投稿サービスを提供
3922	PR TIMES	プライム	2839	動画プレスリリース配信サービス「PR TIMES TV」展開
3984	ユーザーローカル	プライム	1848	Ai活用のブイチューバーシステムをサービス化
4308	Jストリーム	グロース	382	企業向けに動画・ライブ配信プラットフォームを提供
4347	ブロードメディア	スタンダード	1843	動画配信に必要な機能をすべて揃えたシステムを提供
4689	LINEヤフー	プライム	561.9	ライブ動画サービス「LINE LIVE」展開
4751	サイバーエージェント	プライム	1573	クラウド型の動画配信システム「ミルビィ」を提供
4816	東映アニメーション	スタンダード	3260	アニメ専門の動画配信「東映アニメオンデマンド」運営
4839	WOWOW	プライム	1411	定額制見放題が中心の動画配信サービス「パラビ」展開
5027	AnyMind Group	グロース	566	生成AIライブコマースプラットフォーム「AnyLive」運営
5244	jig. jp	グロース	265	アマチュアを主体とするライブ配信「ふわっち」展開
6050	イー・ガーディアン	プライム	2210	ライブ配信プラットフォーム「SHOWROOM」運営
6758	ソニーグループ	プライム	3706	ライブストリーミングを中心とした映像配信サービス展開
6879	IMAGICA GROUP	プライム	792	LIVE 配信、映像・動画制作のプロフェッショナル集団
7050	フロンティアインターナショナル	グロース	2250	イベント動画制作とニュース配信パッケージ化事業を展開
7832	バンダイナムコホールディングス	プライム	4850	動画配信サービス「バンダイチャンネル」を独自展開
9418	U-NEXT HOLDINGS	プライム	2069	エンタメ中心に映像配信サービスでは先駆的存在
9468	KADOKAWA	プライム	3768	動画販売・配信サービス「カドスト」手掛ける

出所：フィスコ作成

出遅れ感が強いグロース株に注目へ

■今週は米国でFOMCが開催

今週は米国でFOMCが開催予定となっている。今回は政策金利が据え置かれる公算だが、FRBのハト派化が強まる可能性はあり、早期利下げへの期待感が高まる余地が広がりそうだ。グロース株への関心の高まりへとつながる余地はある。今回は株価の出遅れ感が強いグロース株を選定。日経平均が安値を付けた4月7日からの株価上昇率が限定的にとどまっているものをスクリーニングしている。グロース株への関心が高まった場合、上昇余地が相対的に大きくなる可能性があるだろう。

スクリーニング要件としては、①今期まで3年間売上高の年平均成長率が15%以上、②実績ROEが20%以上、③4月7日終値比株価上昇率が10%未満。

■グロース株の出遅れ銘柄

コード	銘柄	市場	7/25株価 (円)	時価総額 (億円)	株価騰落率 (%)	ROE(%)	予想 1株利益 (円)
264A	Schoo	グロース	727.0	90.3	-38.4	28.37	11.61
2986	LAHD	グロース	6,200.0	391.2	5.8	26.25	828.09
3093	トレジャー・ファクトリー	プライム	1,816.0	442.2	7.6	26.29	128.37
3836	アバントグループ	プライム	1,474.0	554.9	-3.7	21.45	91.46
3901	マークライنز	プライム	1,985.0	262.6	-0.9	23.85	129.27
4587	ペプチドリーム	プライム	1,712.0	2225.8	1.8	26.45	-
5253	カバー	グロース	2,186.0	1435.1	9.1	32.80	86.82
6036	KeePer技研	プライム	3,330.0	941.8	-0.2	30.56	175.90
6547	グリーンズ	スタンダード	2,005.0	278.3	-5.1	62.48	328.50
6736	サン電子	スタンダード	5,730.0	1375.7	-5.1	36.24	-
9250	GRCS	グロース	1,309.0	18.1	8.2	28.72	44.92
9338	INFORICH	グロース	2,550.0	245.3	-12.4	38.92	242.53
9560	プログリット	グロース	1,082.0	137.0	4.5	34.13	62.82

(注) 株価騰落率は4月7日終値比

出所：フィスコアプリより作成

ROE の改善が見込まれる企業

■ROE の重要性が高まるなか 4-6 月期決算発表が本格化

東海東京インテリジェンス・ラボでは、企業の ROE（株主資本利益率）の改善に注目している。市場の評価軸としても ROE の重要性がますます高まるなか、足元では主要企業の 25 年 4-6 月期の決算発表が本格化するシーズンに。ROE は当期純利益と株主資本から算出されるため、事業環境に対する不透明感が根強いなかでも順調に利益を伸ばせる企業の ROE が改善することはもちろん、改革によって資本効率を改善することが出来れば ROE は一段と向上し、市場の評価も一層高まることが期待されると考察している。同証券では、(1) 日経平均採用銘柄、3 月期決算企業、(2) 前期（25/3 期）および今期（26/3 期）の当期純利益が黒字、(3) ROE の前期実績→今期日経予想の改善幅の大きい順、という条件でスクリーニングしている。

「今期(26/3 期)の ROE の改善が予想されている銘柄」(東海東京インテリジェンス・ラボ)

コード	銘柄名 QUICK略称	株価 (円) 7/16時点	決算期	当期純利益（億円）		ROE（％）		
				25/3期 実績	26/3期 日経予想	25/3期 実績	26/3期 日経予想	予想 改善幅
6702	富士通	3,205.0	26/03	2,198	3,900	12.6	22.4	9.8
4506	住友ファーマ	1,021.0	26/03	236	400	14.5	23.6	9.1
2802	味の素	3,912.0	26/03	703	1,200	9.0	16.1	7.1
9531	東ガス	4,892.0	26/03	742	1,830	4.3	10.6	6.3
4188	三菱ケミG	772.7	26/03	450	1,450	2.6	8.3	5.7
4503	アステラス薬	1,438.5	26/03	507	1,300	3.3	8.6	5.3
6098	リクルートHD	7,944.0	26/03	4,085	4,280	22.6	26.5	3.9
6952	カシオ	1,158.5	26/03	81	165	3.6	7.5	3.9
7731	ニコン	1,420.0	26/03	61	300	0.9	4.7	3.8
1808	長谷工	2,197.5	26/03	345	550	6.6	10.3	3.7
5332	TOTO	3,680.0	26/03	122	310	2.4	5.9	3.5
7951	ヤマハ	1,020.0	26/03	134	285	2.8	6.3	3.5
2432	DeNA	2,366.5	26/03	242	330	10.7	13.7	3.0
6701	NEC	3,886.0	26/03	1,752	2,300	9.1	11.8	2.7
4183	三井化学	3,384.0	26/03	322	550	3.8	6.5	2.7

出所：QUICK より東海東京インテリジェンス・ラボ作成、ROE の予想改善幅の大きい順

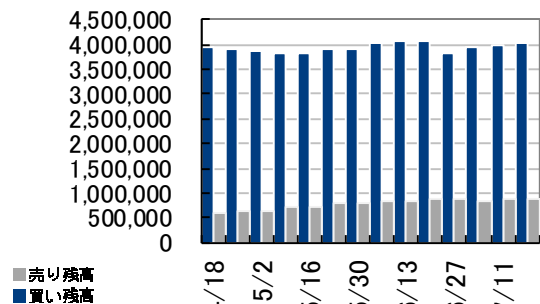
様子見で商い低調ながら半導体関連中心に買い

7月18日時点の2市場信用残高は、買い残高が290億円増の4兆330億円、売り残高が113億円増の8722億円。買い残高が3週連続の増加、売り残高は2週連続の増加となった。また、買い方の評価損益率は-7.13%から-7.79%、売り方の評価損益率は+12.47%から+11.39%に。なお、信用倍率は4.65倍から4.62倍となった。

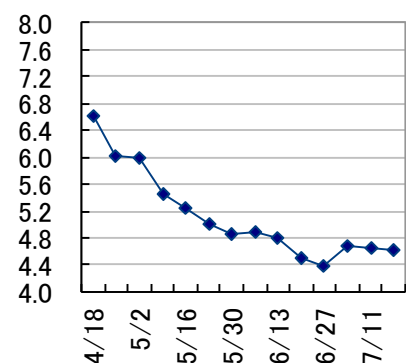
この週（7月14日-18日）の日経平均は前週末比249.43円高の39819.11円。米トランプ政権がカナダに35%の関税率を通知、関税政策による経済やインフレへの影響が懸念されたほか、インフレ長期化観測から連邦準備制度理事会（FRB）の早期利下げ期待も後退し、週初は売りが先行。ただ、週央にかけては、米エヌビディアが画像処理半導体の中国向け販売を再開するとの報道などから、国内の半導体関連株中心に物色が向かい相場を下支えた。台湾TSMCの好決算発表なども一時株高要因とされる形に。週末は40000円大台乗せに伴う短期的な達成感も広がる中、参議院選挙の結果を見極めたいとした手仕舞い売りの動きが強まった。

個別では、パンパシHD<7532>の信用倍率は0.89倍と、前週の2.42倍から売り長の需給状況になった。6月の月次販売高では、国内リテールが売上、客数いずれも前年同月を上回っていた。株価は4月以降、強いトレンドを継続しており、買い方の利益確定の売りに対して、新規売りが積み上がる形になっている。また、東宝<9602>の信用倍率は0.39倍と、前週の0.97倍から一段と売り長となった。7月15日に第1四半期決算を発表。あわせて減益を見込んでいた今期の利益予想を一転、増益に上方修正したことが好感されて相場高値を更新。その後も18日から公開された「鬼滅の刃 無限城編」への期待も高まるなかで高値を更新しており、買い方の利食いに対して、新規売りが積み上がっている。

信用残高 金額ベース 単位：百万円



信用倍率 (倍)



取組みが改善した銘柄

コード	市場	銘柄	7/25終値 (円)	信用買残 (7/18:株)	信用売残 (7/18:株)	信用倍率 (7/18:倍)	信用買残 (7/11:株)	信用売残 (7/11:株)	信用倍率 (7/11:倍)
8252	プライム	丸井G	3,055.0	161,400	4,471,000	0.04	360,700	1,429,900	0.25
7269	プライム	スズキ	1,655.5	2,094,500	1,192,500	1.76	1,906,700	276,700	6.89
7532	プライム	パンパシHD	4,998.0	294,700	330,600	0.89	306,100	126,700	2.42
9602	プライム	東宝	9,902.0	161,000	415,500	0.39	193,900	199,200	0.97
8267	プライム	イオン	4,864.0	356,600	1,397,600	0.26	718,500	1,120,300	0.64
7513	プライム	コジマ	1,247.0	76,500	1,187,400	0.06	113,300	776,600	0.15
6501	プライム	日立	4,614.0	2,980,700	1,624,500	1.83	4,507,200	1,040,100	4.33
5803	プライム	フジクラ	8,857.0	2,411,300	2,984,900	0.81	4,274,800	2,290,200	1.87
5344	プライム	MARUWA	42,900.0	22,700	48,600	0.47	34,800	33,400	1.04
3539	プライム	JMHD	2,775.0	123,700	518,100	0.24	114,400	221,000	0.52
5801	プライム	古河電	8,150.0	1,302,100	937,600	1.39	1,988,300	667,700	2.98
9842	プライム	アー克蘭ズ	1,713.0	208,700	1,807,500	0.12	185,300	771,000	0.24
9900	プライム	サガミHD	1,750.0	30,800	594,300	0.05	38,500	395,000	0.10
7003	プライム	三井E&S	3,110.0	5,202,900	1,915,800	2.72	6,656,100	1,306,700	5.09
3099	プライム	ミツコシイセタン	2,208.5	1,982,500	466,900	4.25	1,784,100	242,000	7.37

コラム:「戦勝国」の歴史的株高

ベトナムの代表的な株価指数VNが3年ぶり高値圏に浮上し、なお騰勢を強めています。背景にあるのは、アメリカとの貿易交渉での実質「勝利」。「中国+1」政策も取り込み、今後も貿易拡大が見込まれるなか、株式市場は力強さを増し始めました。

VN 指数は4月に米トランプ政権の「相互関税」で急落したものの、すぐに堅調さを取り戻し、節目の1300を回復。そこから強含む展開となり、2022年4月以来3年ぶりに1400台に水準を切り上げました。さらに短期的な調整をこなしながら、7月に入って1500を上抜け、足元では一時1520台に。年初から実に3割超も値上がりし、気が付いてみれば過去最高値が迫っています。

株式市場の上昇を支えているのは、外需を軸とした景気回復と物価安定です。7月5日に発表された2025年4-6月期国内総生産(GDP)は前年比+7.96%となり、製造業や輸出の拡大が企業収益を押し上げました。インフレ率は前年比+3.57%に抑えられ、通貨の安定と慎重な金融政策が奏功。こうした経済の堅調さが海外投資家の資金を呼び込み、株高の基盤となっています。

一方、米トランプ政権との貿易交渉で、当初は繊維製品や家具などに最大46%の関税が課される方針が示されたものの、ベトナムは即座に対応に乗り出しました。米通商代表部(USTR)との協議を重ねた結果、6月末には複数品目で関税発動が見送られ、主要な輸出ラインが事実上免除されます。原産地規則の厳格化や中国経由品の排除策も打ち出し、追加制裁の回避に成功しました。

ベトナムは受け身にとどまりませんでした。自由貿易協定(FTA)を活用して輸出先の多様化を進めただけでなく、国内生産の高度化にも取り組みました。米中対立を成長加速の契機と捉え、経済構造の転換を加速させています。今回の対応で国際的な信頼がさらに高まり、ベトナムは東南アジア屈指の製造拠点としての地位を固めています。対米通商摩擦を逆手に取った今回の外交的勝利が、株価上昇を牽引する主因となりました。

かつてアメリカは、共産主義の拡大阻止を名目としてベトナムに軍事介入しました。1975年のサイゴン陥落から、今年でちょうど50年が経過します。20年に及んだ戦争の末、アメリカは撤退し、ベトナムは統一国家として再出発を果たしました。世界で唯一アメリカに軍事面で勝利した経験を持つベトナムは、今回の貿易戦争でも実質撃破したと言えるでしょう。「戦勝国」ベトナムは株式市場も歴史的な局面を迎えています。

※あくまでも筆者の個人的な見解であり、弊社の見解を代表するものではありません。

1	スケジュール	経済カレンダー	2-4
		決算カレンダー	5-10
2	レーティング	格上げ・買い推奨	11
		格下げ・売り推奨	12
3	投資主体別売買動向	総括コメント	13
		市場別データ	14
4	新規上場銘柄	結果とスケジュール	15
5	一目均衡表雲抜け銘柄	雲上抜け銘柄（プライム）	16
		雲下抜け銘柄（プライム）	17

7月28日～8月1日※全て日本時間で表示

日付	曜日	時間	内容
7月28日	月	10:10	国債買い入れオペ(残存5-10年、残存10-25年、残存25年超、物価連動債)(日本銀行)
		13:15	加藤財務相がコロンビア大学ビジネススクール日本経済経営研究所開催のカンファレンスで基調講演
		19:30	印・鉱工業生産(6月)
		20:00	ブ・FGV建設コスト(7月)
		20:25	ブ・週次景気動向調査
		20:30	ブ・個人ローン・デフォルト率(6月)
		20:30	ブ・ローン残高(6月)
		20:30	ブ・融資残高(6月)
		27:00	ブ・貿易収支(先週)
			自民党両院議員懇談会
			決算発表 ヒューリック、塩野義薬、NRI、日東電工
			ベッセント米財務長官が中国当局者と3回目の通商協議(29日まで)
7月29日	火	17:00	欧・欧州中央銀行(ECB)がユーロ圏CPI予想(6月)
		21:30	米・卸売在庫(6月)
		22:00	米・S&P/コアロジックCS20都市住宅価格指数(5月)
		22:00	米・FHFA住宅価格指数(5月)
		23:00	米・消費者信頼感指数(7月)
		23:00	米・JOLT求人数(6月)
			月例経済報告(7月)
			米・連邦公開市場委員会(FOMC)(30日まで)
7月30日	水	10:30	豪・消費者物価指数(6月)
		17:00	独・GDP速報値(4-6月)
		18:00	欧・ユーロ圏GDP速報値(4-6月)
		18:00	欧・ユーロ圏消費者信頼感指数(7月)
		18:00	欧・ユーロ圏景況感指数(7月)
		20:00	ブ・FGVインフレ率IGPM(7月)
		21:15	米・ADP全米雇用報告(7月)
		21:30	米・GDP速報値(4-6月)
		22:45	加・カナダ銀行(中央銀行)が政策金利発表
		23:00	米・中古住宅販売成約指数(6月)
		27:00	米・連邦公開市場委員会(FOMC)が政策金利発表
		30:30	ブ・ブラジル中央銀行が政策金利(セリック金利)発表
			日銀政策委員会・金融政策決定会合(1日目)
			米・FOMC終了後、パウエル連邦準備制度理事会(FRB)議長が記者会見

7月28日～8月1日※全て日本時間で表示

日付	曜日	時間	内容
7月31日	木	08:50	鉱工業生産指数(6月)
		08:50	小売売上高(6月)
		08:50	百貨店・スーパー売上高(6月)
		08:50	対外・対内証券投資(先週)
		10:30	中・製造業PMI(7月)
		10:30	中・非製造業PMI(7月)
		10:30	中・総合PMI(7月)
		10:30	豪・小売売上高(6月)
		14:00	住宅着工件数(6月)
		14:00	消費者態度指数(7月)
		15:30	植田日銀総裁が会見
		16:55	独・失業率(失業保険申請率)(7月)
		17:00	日銀国債買い入れ日程(8月)
		18:00	欧・ユーロ圏失業率(6月)
		19:30	印・財政赤字(6月)
		20:30	ブ・基礎的財政収支(6月)
		20:30	ブ・純債務対GDP比(6月)
		21:00	ブ・全国失業率(6月)
		21:00	南ア・貿易収支(5月)
		21:00	独・消費者物価指数(7月)
		21:30	米・新規失業保険申請件数(先週)
		21:30	米・雇用コスト指数(4-6月)
		21:30	米・個人所得(6月)
		21:30	米・個人消費支出(6月)
		21:30	米・個人消費支出(PCE)価格コア指数(6月)
		22:00	南ア・南アフリカ準備銀行(中央銀行)が政策金利発表
		22:45	米・MNIシカゴ購買部協会景気指数(7月)
			日銀政策委員会・金融政策決定会合(2日目)、終了後決定内容発表
			印・銀行貸出残高(6月)
8月1日	金	08:30	失業率(6月)
		08:30	有効求人倍率(6月)
		09:30	製造業PMI(7月)
		10:45	中・財新製造業PMI(7月)
		14:00	印・製造業PMI確定値(7月)
		17:00	欧・ユーロ圏製造業PMI(7月)
		18:00	欧・ユーロ圏消費者物価コア指数(7月)
		20:00	ブ・FGV消費者物価指数(IPC-SX)(先週)
		21:00	ブ・鉱工業生産(6月)
		21:30	米・非農業部門雇用者数(7月)
		21:30	米・失業率(7月)
		21:30	米・平均時給(7月)
		23:00	米・建設支出(6月)
		23:00	米・ISM製造業景況指数(7月)
		23:00	米・ミシガン大学消費者マインド指数(7月)
			印・外貨準備高(先週)
			米・自動車販売(7月、2日までに)
			米トランプ政権が貿易相手国に対し上乗せ関税を発動

■(米)連邦公開市場委員会(FOMC)

7月30日(水) 日本時間 31 日午前 3 時結果判明

(予想は、政策金利の現状維持) 米連邦準備制度理事会(FRB)は、政治的干渉を受けずに金融政策を決定する能力を維持している。米トランプ政権は金利引き下げを要請しているものの、雇用情勢は特に悪化していないため、今回の会合でも政策金利の据え置きが決定される見込み。

■(米)4-6 月期国内総生産(GDP)速報値

7月30日(水) 午後 9 時 30 分発表予定

(予想は、前期比年率+2.5%) 参考となる 1-3 月期の実績は前期比年率-0.5%。4-6 月期については貿易赤字の大幅な縮小が想定されており、この影響で成長率はプラスとなる見込み。ただ、貿易収支の大幅な改善は 4-6 月期に限定される見込みであり、7-9 月以降における成長見通しは不透明。

■(日)日本銀行金融政策決定会合

7月31日(木) 決定会合の終了予定時刻は未定

(予想は、政策金利は据え置き) 内田日銀副総裁は日米関税協議の合意を受け、日本経済を巡る不確実性が低下し、2%物価目標の実現確度が上がるとの見解を示した。ただ、日銀は中期的な物価動向を慎重に判断する方針を維持しており、今回の会合でも政策金利は据え置きとなる見込み。

■(米)7 月雇用統計

8月1日(金) 午後 9 時 30 分発表予定

(予想は、非農業部門雇用者数は前月比+10.1 万人、失業率は 4.2%) 雇用拡大のペースは減速しており、7 月の非農業部門雇用者数は 6 月実績をやや下回る見込み。失業率については労働参加率が伸び悩んでいるため、若干の上昇にとどまる見込み。

※なお、下記のカレンダーはあくまでも予定で企業の都合により変更される可能性があります。

日付	コード	銘柄	上場部名	時刻	日付	コード	銘柄	上場部名	時刻
7月28日	1718	美樹工業	スタンダード	15:00	7月29日	6822	大井電気	スタンダード	15:00
	2491	Vコーズ	プライム	16:00		6857	アドバンテ	プライム	15:00
	3003	ヒューリック	プライム	11:00		6861	キーエンス	プライム	16:00
	3132	マクニカHD	プライム	15:00		6955	FDK	スタンダード	15:00
	3184	ICDA	スタンダード			7191	イナトラスト	スタンダード	15:00
	3635	ユーエーテック	プライム	16:00		7276	小糸製	プライム	15:00
	3771	システムリサーチ	プライム	15:00		7278	エッセイ	プライム	16:00
	3778	さくら	プライム	12:00		7309	シマノ	プライム	15:00
	4307	NRI	プライム	15:00		7380	十六FG	プライム	15:00
	4507	塩野義	プライム	15:00		8076	カノクス	スタンダード	14:00
	4956	コニシ	プライム	15:00		8137	サンワテックス	プライム	16:00
	5471	大特鋼	プライム	15:00		8174	日ガス	プライム	15:00
	5612	鋳鉄管	スタンダード	15:00		8334	群馬銀	プライム	15:00
	5911	横河HD	プライム	15:00		8537	大光銀	スタンダード	16:00
	5921	川岸エ	スタンダード	15:00		8572	アコム	スタンダード	15:00
	6230	SANEI	スタンダード	15:00		8604	野村HD	プライム	15:00
	6961	エンプラス	プライム	15:00		8614	東洋証	プライム	16:00
	6988	日東電	プライム	16:00		8628	松井証	プライム	11:30
	7102	日車輛	プライム	15:00		8714	池田泉州	プライム	14:00
	7366	LITALICO	プライム	15:00		9022	JR東海	プライム	15:00
	7477	ムラキ	スタンダード	16:00		9202	ANA	プライム	15:00
	7732	トプコン	プライム	15:00		9267	ケンキードラ	プライム	15:00
	8871	ゴールドクレ	スタンダード	15:00		9380	東海運	スタンダード	14:00
	9081	神奈交	プライム	15:00		9474	ゼンリン	プライム	16:00
	9663	ナガワ	プライム	13:00		9502	中部電	プライム	15:00
	9708	帝国ホテル	スタンダード	14:00		9719	SCSK	プライム	15:00
	9782	ティーエムエス	スタンダード	15:00		9932	杉本商	プライム	11:00
7月29日	1803	清水建	プライム	13:00	7月30日	165A	SBLオス	グロース	15:00
	1850	南海辰村	スタンダード	14:00		1934	ユアテック	プライム	12:00
	1884	日道路	プライム	13:00		1949	住電設	プライム	
	1930	北電事	プライム	15:00		2127	日本M&A	プライム	15:00
	1946	トエネク	プライム	15:00		2327	NSSOL	プライム	15:00
	2175	SMS	プライム	15:00		2393	日本ケア	スタンダード	15:00
	2211	不二家	プライム	15:00		2540	養命酒	プライム	15:00
	2216	カンロ	スタンダード	13:00		2767	円谷フィール	プライム	15:00
	2267	ヤクルト	プライム	14:00		2768	双 日	プライム	12:00
	2359	コ ア	プライム	15:00		3104	富士紡HD	プライム	11:00
	2737	トメデハ	プライム	13:00		3231	野村不HD	プライム	15:00
	2760	東エデハ	プライム	15:00		3529	アツギ	スタンダード	14:00
	3793	ドリコム	グロース	15:00		3553	共和レガ	スタンダード	15:00
	3911	Aiming	グロース	15:00		3626	TIS	プライム	15:00
	4043	トクヤマ	プライム	09:00		3636	三菱総研	プライム	16:00
	4290	P I	プライム	16:00		3648	AGS	スタンダード	16:00
	4461	一工業	プライム	16:00		3839	ODK	スタンダード	15:00
	4479	マクアケ	グロース	15:00		3850	NTTDIM	スタンダード	15:00
	4498	サイハトラスト	グロース	15:00		4099	四国化HD	プライム	12:00
	4547	キャセイ薬	プライム	15:00		4113	田岡化	スタンダード	15:00
	4832	JFE-SI	スタンダード	15:00		4205	ゼオン	プライム	15:00
	5352	黒崎播磨	プライム	15:00		4308	Jストリーム	グロース	15:00
	5484	東北鋼	スタンダード	16:00		4345	シーティーエス	プライム	13:00
	5532	リアルゲイト	グロース	15:30		4347	プロメディア	スタンダード	15:00
	5609	日鑄造	スタンダード	15:00		4362	日精化	プライム	16:00
	5834	SBIリンク	グロース	11:00		4373	シンプレックスH	プライム	15:00
	5906	MK精工	スタンダード	15:00		4417	グロセキ	グロース	16:00
	6161	エスティック	スタンダード	15:00		4502	武 田	プライム	15:00
	6301	コマツ	プライム	14:30		4552	JCRファーマ	プライム	16:00
	6337	テセック	スタンダード	15:00		4661	OLC	プライム	16:00
	6349	小 森	プライム	15:00		4679	田 谷	スタンダード	09:00
	6701	NEC	プライム	15:00		4812	電通総研	プライム	15:00
	6798	SMK	プライム	13:00		4816	東映アニメ	スタンダード	15:00

※なお、下記のカレンダーはあくまでも予定で企業の都合により変更される可能性があります。

日付	コード	銘柄	上場部名	時刻	日付	コード	銘柄	上場部名	時刻
7月30日	5191	住友理工	プライム	12:00	7月31日	8367	南都銀	プライム	16:00
	5214	日電硝	プライム	15:00		8383	鳥取銀	スタンダード	15:00
	5449	大阪製鉄	スタンダード	13:00		8425	ミス・リース	プライム	15:00
	5461	中部鋼	プライム	15:00		8550	栃木銀	プライム	15:00
	5819	カレ電気	スタンダード	16:00		8601	大和証G	プライム	11:30
	5832	ちゅうぎ	プライム	14:00		8609	岡 三	プライム	11:00
	5857	AREHD	プライム	15:00		8613	丸三証	プライム	12:00
	5909	コロナ	スタンダード	15:00		8622	水戸証	プライム	13:00
	5936	洋 シヤタ	スタンダード	16:00		8624	いちよし	プライム	13:00
	5992	中発条	スタンダード	14:00		8697	JPX	プライム	12:00
	5994	ファインスター	スタンダード	16:00		8699	HSHD	スタンダード	16:00
	6023	ダイハツイン	スタンダード	16:00		8708	アイザワ証G	プライム	14:00
	6080	M&Aキャピ	プライム	15:00		8793	NECキャピ	プライム	15:00
	6101	ツガミ	プライム	13:00		8914	EJリアルク	スタンダード	12:00
	6196	ストラク	プライム	15:00		9037	ハマキョウ	プライム	16:00
	6305	日立建	プライム	15:00		9044	南海電	プライム	14:00
	6345	アイチコ・ホ	プライム	15:00		9046	神電鉄	プライム	15:00
	6364	AIRMAN	プライム	13:00		9064	ヤマトHD	プライム	15:00
	6371	椿本チ	プライム	15:00		9115	明海G	スタンダード	13:00
	6419	マースGHD	プライム	16:00		9201	JAL	プライム	12:00
	6470	大豊工業	スタンダード	14:00		9362	兵機海	スタンダード	16:00
	6516	山洋電	プライム	11:00		9377	エー・ジー・ビー	スタンダード	16:00
	6586	マキタ	プライム	15:00		9503	関西電	プライム	15:00
	6663	太洋テクノ	スタンダード	15:00		9505	北陸電	プライム	15:00
	6702	富士通	プライム	15:00		9531	東ガス	プライム	14:00
	6727	ワコム	プライム	15:00		9533	邦ガス	プライム	11:00
	6752	パナソニックH	プライム	15:00		9552	M&A総研H	プライム	15:30
	6754	アンリツ	プライム	15:00		9640	セゾンテクノ	スタンダード	15:00
	6823	リオン	プライム	15:00		9679	ホウライ	スタンダード	16:00
	6882	三社電機	スタンダード	15:00		9686	東洋テック	スタンダード	16:00
	6912	菊水HD	スタンダード	16:00		9697	カプコン	プライム	15:00
	6971	京セラ	プライム	15:00		9828	ケンキGDC	スタンダード	
	6973	協栄産	スタンダード	15:00		9889	JBCC HD	プライム	
	6981	村田製	プライム	15:00		1514	住石HD	スタンダード	15:00
	6995	東海理化	プライム	14:00		1878	大東建	プライム	11:00
	7163	住信SBI持	スタンダード	15:00		1939	四電工	プライム	16:00
	7173	きらぼし	プライム	15:00		1941	中電工	プライム	15:00
	7185	ヒレト通商	スタンダード			1942	関電工	プライム	13:00
	7201	日産自	プライム	16:00		1944	きんでん	プライム	15:00
	7205	日野自	プライム	15:00		1948	弘電社	スタンダード	15:00
	7222	産車体	スタンダード	16:00		1950	日本電設	プライム	16:00
	7241	フタバ	プライム	16:00		1976	明星工	プライム	
	7283	愛三エ	プライム	15:00		2002	日清粉G	プライム	15:30
	7381	北國FHD	プライム	13:00		2003	日東富士	スタンダード	17:00
	7600	日本MDM	プライム	12:00		2053	中部銅	プライム	14:00
	7774	J・TEC	グロース	15:00		2060	フィード・ワン	プライム	15:00
	7817	バクベツ	プライム	15:00		2109	DM三井糖	プライム	15:00
	7823	アートネイチャー	スタンダード	15:00		2114	フジ日本	スタンダード	15:00
	7839	SHOEI	プライム	15:00		2121	MIXI	プライム	15:00
	7908	KIMOTO	スタンダード	17:00		2130	メンバーズ	プライム	15:00
	7971	東 リ	スタンダード	14:00		2152	幼児活動	スタンダード	16:00
	7984	コクヨ	プライム			2208	ブルボン	スタンダード	
	7995	バルカー	プライム	15:00		2281	プリマハム	プライム	15:00
	8014	蝶 理	プライム	15:00		2317	システナ	プライム	16:00
	8081	カナデン	プライム	14:00		2326	デジーツ	プライム	16:00
	8309	三住トラスト	プライム			2410	キャリアDC	プライム	16:00
	8343	秋田銀	プライム	14:00		2477	手間イラス	スタンダード	15:00
	8349	東北銀	スタンダード	13:00		2479	ジェイテック	スタンダード	15:00
	8362	福井銀	プライム	13:00		2492	インフォマート	プライム	15:00
	8366	滋賀銀	プライム	15:00		2692	伊藤忠食	プライム	13:00

※なお、下記のカレンダーはあくまでも予定で企業の都合により変更される可能性があります。

日付	コード	銘柄	上場部名	時刻	日付	コード	銘柄	上場部名	時刻
7月31日	2782	セリア	スタンダード	15:00		4569	杏林製薬	プライム	
	2805	エスピー	スタンダード	14:00		4578	大塚HD	プライム	13:00
	2806	ユ効フーズ	スタンダード	13:00		4582	シバイ	グロース	
	2810	ハウス食G	プライム	14:00		4617	中国塗	プライム	15:00
	2811	カゴメ	プライム	15:00		4644	イマジナ	スタンダード	15:00
	2875	東洋水産	プライム	12:00		4658	日本空調	プライム	16:00
	2883	大 冷	スタンダード	14:00		4659	エイジス	スタンダード	15:00
	2892	日食品	スタンダード	12:00		4676	アジHD	プライム	15:00
	2894	石井食	スタンダード	13:00		4685	菱友システム	スタンダード	17:00
	2908	フジッコ	プライム	14:00		4690	日ハレト	スタンダード	15:00
	2914	J T	プライム	15:30		4709	IDHD	プライム	11:00
	2926	篠崎屋	スタンダード	15:00		4761	サクラKCS	スタンダード	15:00
	3004	神 栄	スタンダード	12:00		4762	エクスネット	スタンダード	16:00
	303A	visumo	グロース	16:00		4771	エアポートエム	スタンダード	16:00
	3064	MonotaRO	プライム	15:00		4839	WOWOW	プライム	13:00
	3079	DVx	スタンダード	15:00		4902	ユニホルタ	プライム	15:00
	3092	ZOZO	プライム	15:00		4923	コ タ	プライム	16:00
	3116	トヨ紡織	プライム	14:00		4957	ヤスハケミカル	スタンダード	16:00
	3137	ファンテリー	グロース	15:00		5204	石塚硝	スタンダード	13:00
	3153	八洲電機	プライム	15:40		5257	ハビシステム	スタンダード	
	3190	ホットマン	スタンダード	11:00		5280	ヨシユ	スタンダード	
	3294	イーグランド	スタンダード	15:00		5332	TOTO	プライム	15:00
	3341	日本調剤	プライム	16:00		5333	ガイシ	プライム	15:00
	3352	ハッファロー	スタンダード	15:00		5334	特殊陶	プライム	16:00
	3388	明治電機	プライム	15:00		5386	鶴 弥	スタンダード	16:00
	3407	旭化成	プライム	12:30		5388	クミネエ	スタンダード	15:00
	3496	アズーム	プライム	15:00		5440	共英製鋼	プライム	13:00
	3512	日フエルト	スタンダード	14:00		5444	大和工	プライム	13:00
	3542	VEGA	グロース			5445	東京鉄	プライム	13:00
	3580	小松マテレ	プライム	15:00		5464	モリ工業	スタンダード	13:00
	3622	ネットイー	グロース	15:00		5482	愛知鋼	プライム	14:00
	3640	電 算	スタンダード	15:00		5603	虹 技	スタンダード	15:00
	3762	テクトリックス	プライム	15:00		5658	日亜鋼	スタンダード	
	3835	eBASE	プライム	16:00		5703	日軽金HD	プライム	14:00
	3891	高度紙	スタンダード	14:00		5802	住友電	プライム	15:00
	3946	トーモク	プライム	15:00		5821	平河ヒューテ	プライム	15:00
	4045	東亜合成	プライム	14:00		5844	京都FG	プライム	15:00
	4080	田中化研	スタンダード	16:00		5905	日カン	スタンダード	15:00
	4091	日本酸素	プライム	15:00		5928	アルマックス	スタンダード	16:00
	4151	協和キリン	プライム	15:00		5929	三和HD	プライム	11:00
	4204	積水化	プライム	15:30		5938	LIXIL	プライム	13:00
	4212	積水樹	プライム	16:00		5951	ダイチエ	スタンダード	15:00
	4216	旭有機材	プライム	16:00		5955	ワイスHD	スタンダード	15:00
	4220	リケンテックス	プライム	14:00		5959	岡 部	プライム	15:00
	4228	積化成	プライム	16:00		6042	ニッキ	スタンダード	15:00
	4229	群栄化	プライム	11:00		6104	芝浦機械	プライム	17:00
	4248	竹本容器	スタンダード	15:00		6135	牧野フ	プライム	15:00
	4262	コティライフ	グロース	11:00		6144	西電機	スタンダード	
	4272	日化薬	プライム	16:00		6157	日進工具	プライム	16:00
	4299	ハイマックス	スタンダード	13:00		6185	SMN	スタンダード	15:00
	4318	クイック	プライム	15:00		6189	グローキッズ	スタンダード	15:00
	4367	広栄化学	スタンダード	13:00		6201	豊田織機	プライム	11:00
	4410	ハル化成G	プライム	13:00		6222	島精機	プライム	15:00
	4463	日華化学	スタンダード	15:00		6262	PEGASUS	スタンダード	15:00
	4506	住友ファーマ	プライム	15:30		6268	ナブテスコ	プライム	16:00
	4531	有機薬	スタンダード	15:00		6292	カワタ	スタンダード	12:00
	4539	日ケミファ	スタンダード	15:00		6325	タカキタ	スタンダード	15:00
	4549	栄研化	プライム	15:00		6331	化工機	プライム	16:00
	4551	鳥居薬	プライム	15:00		6356	日ギア	スタンダード	13:00
	4568	第一三共	プライム	13:00		6373	大同工	スタンダード	16:00

※なお、下記のカレンダーはあくまでも予定で企業の都合により変更される可能性があります。

日付	コード	銘柄	上場部名	時刻	日付	コード	銘柄	上場部名	時刻
7月31日	6382	トリエ	スタンダード	15:00		7806	MTG	グロース	15:00
	6391	加地テック	スタンダード			7844	マーベラス	プライム	
	6413	理想科	プライム	16:00		7893	プロネクサス	プライム	15:00
	6454	マックス	プライム	15:00		7896	セブンエ	スタンダード	11:00
	6455	モリタHD	プライム	15:00		7897	ホクシン	スタンダード	16:00
	6471	日精工	プライム	15:30		7919	野崎印	スタンダード	15:00
	6473	ジェイテクト	プライム	15:00		7940	ウェーブリンク	スタンダード	15:00
	6488	ヨシタ	スタンダード	15:00		7942	JSP	プライム	15:00
	6493	NITTAN	スタンダード	16:00		7943	ニチハ	プライム	16:00
	6501	日立	プライム	15:00		7947	エフコ	プライム	15:00
	6503	三菱電	プライム	15:30		7962	キングジム	プライム	16:00
	6508	明電舎	プライム	15:00		7976	菱鉛筆	プライム	15:00
	6518	三相電機	スタンダード	15:00		7988	ニフコ	プライム	13:00
	6526	リソネクスト	プライム	15:00		8005	スクロール	プライム	15:00
	6557	AIAI	グロース	15:00		8015	豊通商	プライム	15:00
	6565	ABホテル	スタンダード			8030	中央魚	スタンダード	16:00
	6643	戸上電	スタンダード	15:00		8035	東エレクト	プライム	16:00
	6653	正興電機	プライム	15:00		8046	丸藤バ	スタンダード	13:00
	6658	シイ電子	スタンダード	15:00		8053	住友商	プライム	13:00
	6659	メディアリンク	スタンダード	15:00		8056	BIPROGY	プライム	15:00
	6737	EIZO	プライム			8065	佐藤商	プライム	11:00
	6770	アルファアル	プライム	15:00		8084	RYODEN	プライム	16:00
	6797	名古屋電	スタンダード	16:00		8103	明和産	プライム	13:00
	6810	マクセル	プライム	15:00		8119	三栄ホ	スタンダード	15:00
	6817	スミダコーポ	プライム			8133	エネクス	プライム	13:00
	6870	フェオール	スタンダード	15:00		8141	新光商	プライム	15:00
	6879	IMAGICAG	プライム	15:00		8157	都築電	プライム	12:00
	6902	デンソー	プライム	11:00		8267	イオン	プライム	
	6923	スバル電	プライム	15:00		8285	三谷産	スタンダード	12:00
	6932	遠藤照	スタンダード	16:00		8308	リソなHD	プライム	16:00
	6960	フクダ電	スタンダード			8316	三井住友	プライム	15:00
	7022	サハヤスHD	スタンダード	15:00		8336	武蔵銀	プライム	
	7046	TDSE	グロース			8344	山形銀	プライム	15:00
	7148	FPG	プライム	16:00		8345	岩手銀	プライム	14:00
	7150	島根銀行	スタンダード			8346	東邦銀	プライム	12:00
	7172	JIA	プライム	15:00		8365	富山銀	スタンダード	14:00
	7218	田中精密	スタンダード	14:00		8368	百五銀	プライム	15:00
	7224	新明和	プライム	16:00		8381	山合銀	プライム	13:00
	7259	アイシン	プライム	13:00		8411	みずほ	プライム	15:00
	7297	カーメイト	スタンダード			8424	芙蓉リース	プライム	14:00
	7419	ノジマ	プライム	11:00		8473	SBI	プライム	
	7433	伯東	プライム	15:00		8544	京葉銀	プライム	13:00
	7442	中山福	スタンダード	16:00		8551	北日銀	プライム	15:00
	7446	東北化学	スタンダード	15:00		8570	イオンFS	プライム	
	7464	セフテック	スタンダード	15:00		8585	オリコ	プライム	15:00
	7475	アルビス	プライム	14:00		8616	東海東京	プライム	11:00
	7476	アズワン	プライム	16:00		8700	丸八証券	スタンダード	15:00
	7483	トウシヤ	プライム	15:00		8704	トレイダーズ	スタンダード	15:00
	7504	高速	プライム	15:00		8739	スパークス G	プライム	16:00
	7508	GセブンHD	プライム	15:00		8803	平和不	プライム	11:00
	7510	たけびし	プライム			8818	京阪神ビ	プライム	15:00
	7539	アイトホHD	スタンダード	13:00		8877	エスリート	プライム	13:00
	7570	橋本総HD	スタンダード			8898	センチュリー21	スタンダード	16:00
	7575	日本ライフ	プライム			9003	相鉄HD	プライム	14:00
	7596	魚力	プライム	15:00		9009	京成	プライム	15:00
	7625	ダイニチ	スタンダード	15:00		9020	JR東日本	プライム	15:00
	7687	ミクリート	グロース	16:00		9023	東京マル	プライム	15:00
	7723	愛時計	プライム	15:00		9042	阪急阪神	プライム	15:00
	7775	大研医器	スタンダード	16:00		9065	山九	プライム	15:00
	7795	KYORITSU	スタンダード	15:00		9104	商船三井	プライム	12:00

※なお、下記のカレンダーはあくまでも予定で企業の都合により変更される可能性があります。

日付	コード	銘柄	上場部名	時刻	日付	コード	銘柄	上場部名	時刻
7月31日	9119	飯野海	プライム	14:00		4188	三菱ケミ	プライム	13:30
	9206	SFJ	スタンダード	15:00		4202	ダイセル	プライム	13:00
	9301	三菱倉	プライム	15:00		4310	D I	プライム	17:00
	9307	杉村倉	スタンダード			4341	西菱電機	スタンダード	15:00
	9311	アサガミ	スタンダード			4471	三洋化	プライム	15:00
	9351	東洋埠頭	スタンダード	16:00		4528	小野薬	プライム	12:00
	9368	キムラユニティ	スタンダード	11:00		4534	持田薬	プライム	14:00
	9376	ユーシア	スタンダード	16:00		4626	太陽HD	プライム	12:00
	9404	日テレHD	プライム	15:00		4718	早稲アカ	プライム	15:00
	9413	テレ東HD	プライム	15:00		4768	大塚商	プライム	15:00
	9504	中国電	プライム	14:00		5186	ニッタ	プライム	15:00
	9506	東北電	プライム	15:00		5201	AGC	プライム	13:00
	9507	四国電	プライム	15:00		5284	ヤマウHD	スタンダード	16:00
	9508	九州電	プライム	15:00		5367	コッケー	スタンダード	15:00
	9509	北海電	プライム	15:00		5401	日本製鉄	プライム	15:00
	9511	沖縄電	プライム	13:00		5410	合同鉄	プライム	
	9513	Jパワー	プライム			5446	北越メタル	スタンダード	15:00
	9532	大ガス	プライム	14:00		5727	邦チケウム	プライム	13:00
	9534	北ガス	プライム			5729	日精鉱	スタンダード	13:00
	9536	西部ガスH	プライム	16:00		5742	NIC	スタンダード	15:00
	9672	都競馬	プライム	15:00		5903	SHINPO	スタンダード	15:00
	9687	KSK	スタンダード	15:00		6035	IRJ HD	プライム	13:00
	9709	NCS&A	スタンダード	16:00		6050	E G	プライム	15:00
	9715	トランススモ	プライム	15:00		6060	こころNT	スタンダード	16:00
	9742	アイネス	プライム	16:00		6141	DMG森精	プライム	15:00
	9744	メイテックGHD	プライム	11:00		6322	タクミナ	スタンダード	16:00
	9759	NSD	プライム	15:00		6467	ニチダイ	スタンダード	15:00
	9766	コナミG	プライム	15:00		6632	JVCKW	プライム	15:00
	9795	ステップ	プライム	15:00		6762	TDK	プライム	15:30
	9832	オートバックス	プライム	15:00		6777	santechHD	スタンダード	15:00
	9882	イーエーハット	プライム			6832	アイ電子	スタンダード	13:00
	9928	ミロ情報	プライム			6929	日セミ	プライム	15:00
	9934	因幡電産	プライム	11:00		6946	日アビオ	スタンダード	
	9936	王将フード	プライム	15:00		6952	カシオ	プライム	15:00
	9950	ハチパン	スタンダード	16:00		7162	アストマックス	スタンダード	16:00
	9955	ヨンキウ	スタンダード	15:00		7184	富山第一	プライム	15:00
	9969	ショクパン	スタンダード			7296	エフ・シー・シー	プライム	15:00
	9997	ペルーナ	プライム	15:00		7480	スズデン	スタンダード	
8月1日	1450	TANAKEN	スタンダード	15:00		7509	アイエーG	スタンダード	15:00
	1882	東亜道	プライム	15:00		7537	丸 文	プライム	16:00
	1967	ヤマト	スタンダード	15:00		7595	アルコグラフ	プライム	15:00
	2212	山崎パン	プライム	15:00		7609	ダイロ	プライム	16:00
	2222	寿スピリッツ	プライム	15:00		7709	クボテック	スタンダード	15:00
	2229	カルビー	プライム	12:00		7741	HOYA	プライム	13:00
	2282	日本ハム	プライム	15:00		7883	サンメッセ	スタンダード	15:00
	2349	エヌアイイ	スタンダード	15:00		7885	タカノ	スタンダード	15:00
	2480	シスロケ	スタンダード	15:00		7951	ヤマハ	プライム	15:00
	2579	エコーラBJH	プライム	15:00		7974	任天堂	プライム	15:00
	2612	かどや	スタンダード	15:00		8001	伊藤忠	プライム	13:00
	2907	あじかん	スタンダード	15:00		8002	丸 紅	プライム	11:00
	299A	dely	グロース	15:00		8020	兼 松	プライム	
	3110	日東紡	プライム	15:00		8031	三井物	プライム	12:00
	3191	ジョイ本田	プライム	15:00		8059	第一実	プライム	14:00
	3371	ソフクリエHD	プライム	15:00		8158	ソーダニッカ	プライム	14:00
	3439	三ツ知	スタンダード	15:00		8242	H2Oリール	プライム	14:00
	3566	ユニネク	グロース	16:00		8304	あおぞら	プライム	16:00
	3841	ジーダット	スタンダード	15:00		8359	八十二	プライム	15:00
	3908	コロボス	グロース	15:00		8386	百十四	プライム	15:00
	4005	住友化	プライム	13:30		8566	リョーリス	プライム	14:00
	4062	化ビデン	プライム	15:00		8860	アジ住	プライム	14:00

※なお、下記のカレンダーはあくまでも予定で企業の都合により変更される可能性があります。

日付	コード	銘柄	上場部名	時刻
8月1日	8935	FJネクストHD	プライム	14:00
	8944	ランビゾネス	スタンダード	15:00
	9024	西武HD	プライム	14:00
	9130	共栄タ	スタンダード	16:00
	9305	ヤマタネ	プライム	13:00
	9325	フェイスHD	スタンダード	15:00
	9433	KDDI	プライム	15:00
	9699	ニシオHD	プライム	15:00
	9816	ストライダース	スタンダード	
	9853	ルノアール	スタンダード	15:00
	9878	セキド	スタンダード	15:00
	9902	日 伝	プライム	13:00

格上げ・買い推奨

※下記のレーティングや目標株価は証券各社が発表したもののうち、フィスコが把握したものを集計しています。

日付	証券会社	コード	社名	レーティング	目標株価(円)
7月22日	岡三	6988	日東電	中立→強気格上げ	2900→3500
	東海東京	9404	日テレHD	NEUTRAL→OUTPERFORM格上げ	2880→3620
	野村	4689	LINEヤフー	BUY新規	623
7月23日	JPモルガン	6479	ミネベア	OVERWEIGHT新規	4000
		6594	ニデック	OVERWEIGHT新規	3900
		6762	TDK	OVERWEIGHT新規	2070
		6806	ヒロセ電	OVERWEIGHT新規	24500
	SMBC日興	4182	菱瓦斯化	1新規	3000
	みずほ	299A	dely	買い新規	2200
	野村	6728	アルバック	BUY新規	7700
	ゴールドマン	7270	SUBARU	中立→買い格上げ	2350→3300
7月24日		7741	HOYA	中立→買い格上げ	20000→22000
	シティ	4452	花王	1新規	8100
		4912	ライオン	1新規	1800
		4927	ポーラオルHD	1新規	1500
	モルガン	5105	TOYO	EQUALWEIGHT→OVERWEIGHT格上げ	3000→3700
		5108	ブリヂス	EQUALWEIGHT→OVERWEIGHT格上げ	5700→7000
	野村	5595	QPS研究所	NEUTRAL→BUY格上げ	2322→2580
	JPモルガン	3563	F&LC	OVERWEIGHT新規	8500
7月25日	みずほ	1885	東亜建	買い新規	2100
	東海東京	1926	ライトエ	NEUTRAL→OUTPERFORM格上げ	2300→3300
		4042	東ソー	NEUTRAL→OUTPERFORM格上げ	2130→2770

格下げ・売り推奨

※下記のレーティングや目標株価は証券各社が発表したもののうち、フィスコが把握したものを集計しています。

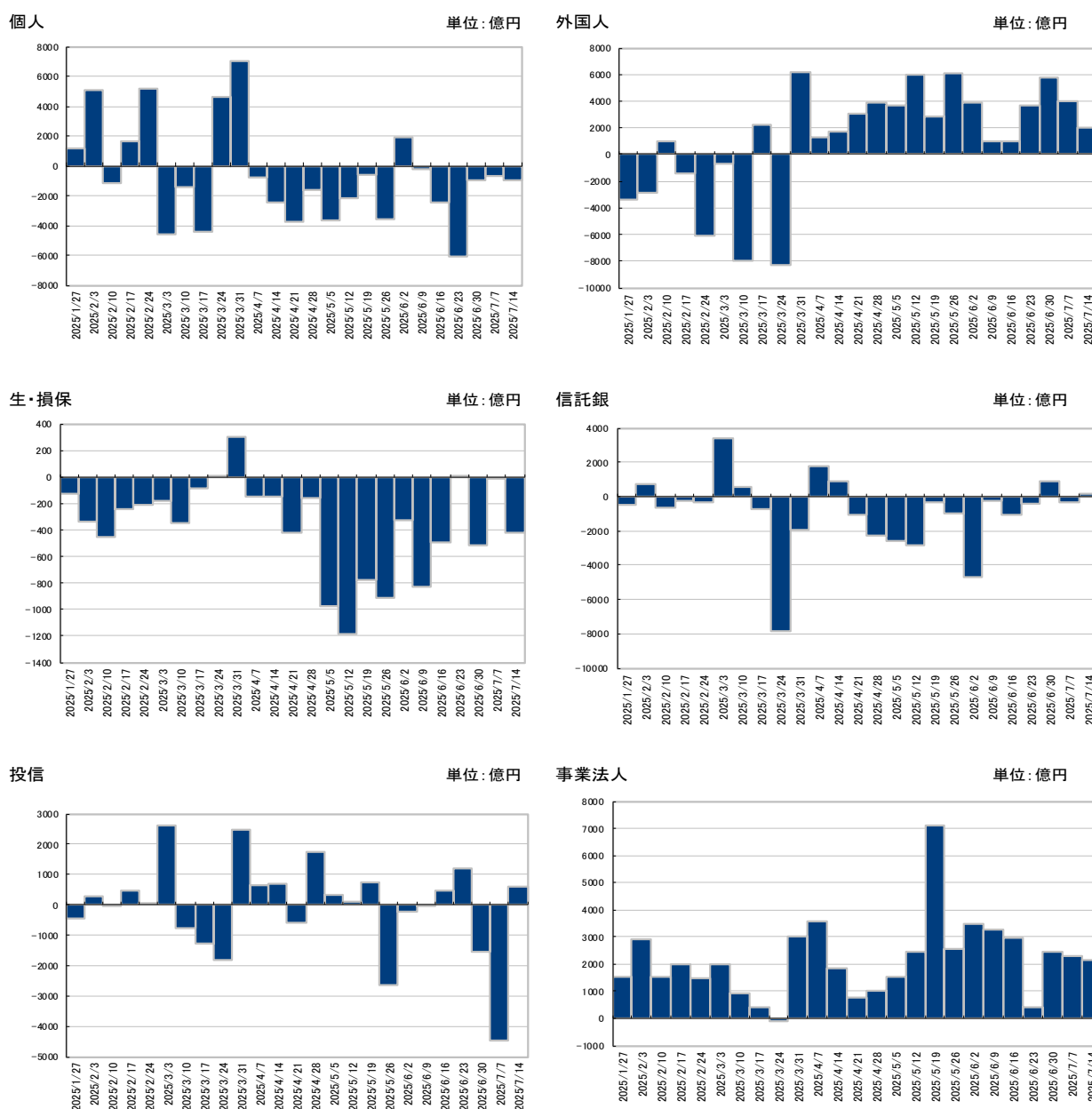
日付	証券会社	コード	社名	レーティング	目標株価（円）
7月22日	岡三	6923	スタンレー電	強気→中立格下げ	3150→3100
7月23日	SMBC日興	6723	ルネサス	1→2格下げ	3600→2000
	東海東京	2471	エスプール	OUTPERFORM→NEUTRAL格下げ	370→360
7月24日	SMBC日興	7270	SUBARU	1→2格下げ	4400→2700
	みずほ	6473	ジェイテクト	買い→中立格下げ	1350
		9962	ミスミG	買い→中立格下げ	3750→2000
	モルガン	5110	住友ゴム	OVERWEIGHT→EQUALWEIGHT格下げ	2000→1800
	大和	4182	菱瓦斯化	2→3格下げ	3620→2640
	東海東京	7388	FPパートナー	OUTPERFORM→NEUTRAL格下げ	3500→2000
7月25日	みずほ	5411	JFE	買い→中立格下げ	2910→1760

7月第3週:外国人投資家は総合で買い越しを継続

7月第3週の投資主体別売買動向によると、外国人投資家は総合で2402億円と買い越しを継続した。現物とTOPIX先物で買い越しを継続し、225先物で売り越しを継続した。個人投資家は総合で1024億円と売り越しを継続した。

そのほか、投信は175億円と買い越しに転じ、都地銀は373億円と売り越しに転じた。生・損保は569億円と売り越しに転じ、事法は2128億円と買い越しを継続し、信託は2013億円と売り越しを継続した。

なお、自己は現物で売り越しを継続し、TOPIX先物で買い越しに転じ、225先物で買い越しを継続し、総合で1426億円と売り越しに転じた。この週の裁定残は前週末比802.12億円減少（売り越し）とネットベースで1兆1123.53億円の買い越しとなった（買い越し幅減少）。週間の騰落率は日経平均で0.63%の上昇だった。



単位: 億円

現物	日付	自己	個人	外国人	投信	事業法人	生・損保	都地銀	信託銀
	25/04/07	▲6,762	▲823	1,327	657	3,583	▲146	▲164	1,742
	25/04/14	▲2,300	▲2,445	1,680	693	1,831	▲145	▲218	902
	25/04/21	2,298	▲3,784	3,062	▲580	786	▲420	▲233	▲1,058
	25/04/28	▲2,199	▲1,617	3,870	1,752	1,036	▲157	▲408	▲2,252
	25/05/05	2,289	▲3,715	3,640	315	1,550	▲972	▲69	▲2,622
	25/05/12	▲1,292	▲2,225	5,978	96	2,429	▲1,188	▲445	▲2,859
	25/05/19	▲9,066	▲613	2,833	739	7,121	▲777	▲185	▲302
	25/05/26	273	▲3,610	6,116	▲2,643	2,532	▲910	▲206	▲975
	25/06/02	▲3,627	1,890	3,932	▲237	3,467	▲331	▲175	▲4,715
	25/06/09	▲3,580	▲188	969	▲12	3,245	▲831	▲229	▲218
	25/06/16	▲363	▲2,511	971	461	2,967	▲490	▲305	▲1,044
	25/06/23	393	▲6,061	3,661	1,205	428	2	▲110	▲433
	25/06/30	▲6,670	▲981	5,775	▲1,560	2,432	▲519	▲227	882
	25/07/07	▲1,391	▲743	4,003	▲4,465	2,320	▲15	▲274	▲305
	25/07/14	▲3,926	▲1,011	2,002	588	2,142	▲418	▲493	171

単位: 億円

T O P I X 先物	日付	自己	個人	外国人	投信	事業法人	生・損保	都地銀	信託銀
	25/04/07	3,499	57	▲3,127	▲339	1	▲304	▲64	212
	25/04/14	1,034	▲88	961	288	10	▲1,778	▲165	▲198
	25/04/21	▲1,414	▲261	1,547	12	9	394	13	▲308
	25/04/28	2,110	347	▲2,800	▲88	▲8	▲163	74	565
	25/05/05	▲691	71	133	▲80	▲12	471	2	85
	25/05/12	390	198	▲1,500	212	0	▲34	858	▲200
	25/05/19	1,800	▲14	▲1,800	53	▲1	669	0	▲722
	25/05/26	▲2,000	▲30	1,000	196	10	585	56	280
	25/06/02	931	▲28	2,922	▲605	▲10	43	58	▲3,306
	25/06/09	0	27	1,000	130	0	130	100	▲1,700
	25/06/16	1,670	84	▲1,500	▲159	36	145	▲8	▲340
	25/06/23	▲1,130	▲45	▲1,600	977	▲12	▲50	3	1,888
	25/06/30	4,520	▲31	▲2,000	▲277	▲24	89	▲220	▲2,166
	25/07/07	▲500	▲139	6,300	▲350	5	119	15	▲5,483
	25/07/14	1,040	37	1,200	▲122	▲5	▲47	0	▲1,976

単位: 億円

日経平均 先物	日付	自己	個人	外国人	投信	事業法人	生・損保	都地銀	信託銀
	25/04/07	▲594	▲65	▲568	▲356	17	▲36	▲126	2,072
	25/04/14	▲679	▲467	520	▲68	▲91	1	▲28	958
	25/04/21	▲848	▲764	632	126	▲121	▲45	1,520	▲465
	25/04/28	▲1,880	0	1,400	93	▲9	22	1,042	▲900
	25/05/05	501	▲140	936	43	▲47	▲21	▲277	▲910
	25/05/12	▲410	60	2,100	▲307	18	3	755	▲2,320
	25/05/19	1,140	230	0	▲259	4	8	▲410	▲1,140
	25/05/26	590	300	▲600	▲22	▲38	410	283	▲1,010
	25/06/02	457	▲181	▲746	41	▲2	26	163	177
	25/06/09	300	▲100	1,000	120	25	275	▲20	▲1,800
	25/06/16	90	▲350	1,900	▲71	▲7	▲528	21	▲1,290
	25/06/23	▲250	110	1,400	▲149	81	▲38	▲35	▲1,020
	25/06/30	1,000	▲130	0	180	▲55	▲171	▲1,145	60
	25/07/07	3,650	160	▲800	▲248	225	▲16	439	▲3,470
	25/07/14	1,460	▲50	▲800	▲291	▲9	▲104	120	▲208

※ データは直近の新規上場銘柄の結果とスケジュールを全て掲載しています。
証券会社によって取り扱いが異なりますので、お取引の際は各証券会社にご確認ください。

銘柄名	コード	市場	上場日	仮条件 (円)	公募株数 (株)	売出株数 (株)	公募価格 (円)	初値 (円)	主幹事	7/25終値 (円)
フラー	387A	グロース	7/24	1,110～1,170	60,000	213,900	1,170	5,200	SBI	4,500
事業内容:	スマートフォンアプリを中心としたデジタル領域全般における事業開発コンサルティング・UI/UXデザイン・システム開発、アプリ利用データ分析等									
山忠	391A	名メイン	7/29	2,520～2,600	150,000	40,000	2,600	-	アイザワ	-
事業内容:	不動産の企画・開発・販売、不動産の賃貸及び管理、ビジネスホテル運営等									
アクセルスペースホールディングス	402A	グロース	8/13	345～375	15,211,100	0	-	-	SMBC日興	-
事業内容:	小型衛星の設計・製造・打上・運用サービス(AxelLiner 事業) 及び光学衛星画像の販売及び衛星画像を用いたソリューションサービスの提供(AxelGlobe 事業)									

雲上抜け銘柄(プライム)

コード	銘柄	終値 (円)	先行スパンA (円)	先行スパンB (円)	コード	銘柄	終値 (円)	先行スパンA (円)	先行スパンB (円)
1333	マルハニチロ	3102	3024.75	3084	1379	ホクト	1833	1791.25	1816
2153	イージェイHD	1715	1652.75	1674	2337	いちご	398	364.5	387
2378	ルネサンス	1083	1021	1047	2531	宝HLD	1279	1247.5	1190.5
2676	高千穂交	1986	1952.75	1956	2695	くら寿司	4050	3324.25	3953
2804	ブルソース	1961	1826.5	1950	2875	東洋水産	10105	10036.25	9650
3003	ヒューリック	1456	1386.25	1454.5	3091	ブロンコB	3765	3611.25	3630
3116	トヨタ紡織	2167	1928.75	2141.5	3150	グリムス	2541	2489.75	2364.5
3176	三洋貿易	1505	1461	1446	3655	ブレインパッド	1307	1090.75	1256.5
3863	日本紙	1146	889.5	1125	3902	MDV	514	458	513.5
3915	テラスカイ	2386	2278	2076.5	3994	マネーフォワード	6011	4633.75	5213.5
4004	レゾナック	3701	3679.5	3395	4249	森六	2415	2153.5	2393
4337	びあ	2989	2979.5	2944	4345	シーティーエス	857	856.25	815.5
4362	日本精化	2699	2391.25	2574	4368	扶桑化学	4225	3532.5	4200
4384	ラクスル	1264	1216.5	1140	4401	ADEKA	2999	2837.75	2948
4433	ヒトコムHD	1132	876.5	996	4536	参天薬	1685	1678.5	1637
4549	栄研化	2256	2194.25	2148.5	4958	長谷川香	3125	3084.5	3023
5020	ENEOS	775	764.25	727.5	5108	ブリヂス	6251	5522	6014
5195	バンドー化	1784	1771.75	1759	5233	太平洋セメ	3722	3605.25	3591
5333	日本ガイシ	1914	1910.25	1895	5463	丸一鋼管	3712	3382.25	3625
5703	日軽金HD	1715	1567.5	1681	5911	横河プHD	2687	2660.75	2622.5
5970	ジーテクト	1850	1656	1846.5	6104	芝浦機	3655	3612.5	3587.5
6136	OSG	1921	1796.25	1911	6141	DMG森精機	3539	2771.5	3530
6237	イワキポンプ	2777	2586.25	2717	6287	サトー	2138	2095.75	2084.5
6306	日工	763	719	737.5	6369	トーヨーカネツ	4050	3976.25	3892.5
6371	椿本チエイン	2035	1902.75	1789	6432	竹内製作	5250	4846.25	5130
6474	不二越	3240	3151.25	3124.5	6480	日トムソン	604	511.75	573.5
6486	イーグルエ	1985	1964.25	1907	6586	マキタ	4676	4593.75	4428.5
6674	GSユアサ	2746	2576.75	2660	6718	アイホン	2830	2713.25	2790
6727	ワコム	710	701	695	6770	アルプスアル	1571	1525.75	1326.5
6806	ヒロセ電	18180	18037.5	17267.5	6809	TOA	1046	958.75	1026
6908	イリソ電子	2852	2647	2821.5	6928	エノモト	1439	1410	1431.5
7128	フルサト・マルカHD	2370	2310.75	2222	7220	武蔵精密	3340	3273.5	2918
7250	太平洋工	1761	1393.25	1458	7267	ホンダ	1621	1425.75	1587
7389	あいちFG	2797	2474.25	2686	7459	メディパル	2474	2435.75	2470.5
7951	ヤマハ	1079	1075.25	1060.5	7955	クリナップ	722	673.5	707
#REF!	三陽商	2870	2723.5	2575.5	8022	ミズノ	2847	2726.25	2394
8011	紙パル商	660	637.75	604	8059	第一実業	2594	2512.75	2382
8032	佐藤商	1619	1457	1559.5	8097	三愛オブリ	1980	1893.25	1948.5
8065	トーホー	3235	2836	3164.5	8154	加賀電子	2873	2659.25	2805
8160	木曽路	2408	2226	2400.5	8200	リンガーハット	2270	2212.75	2265.5
8424	芙蓉リース	4133	3718.75	3978	8609	岡三	728	637.75	704.5
8804	東建物	2528	2458	2401.5	8881	日神GHD	522	508.75	520.5
9022	JR東海	3439	3064.5	3385.5	9502	中部電力	1878	1663.5	1877
9507	四国電力	1283	1232	1274.5	9536	西部ガスHD	1878	1766	1862
9600	アイネット	1909	1587.25	1890.5	9699	西尾HD	4165	4097.5	4015
9716	乃村工芸	887	870	864	9742	アイネス	1739	1725.25	1635.5
9765	オオバ	1037	997.25	1026.5	9837	モリト	1482	1477	1405
9900	サガミHD	1750	1728.25	1649					

雲下抜け銘柄(プライム)

コード	銘柄	終値 (円)	先行スパンA (円)	先行スパンB (円)	コード	銘柄	終値 (円)	先行スパンA (円)	先行スパンB (円)
2670	ABCマート	2912	3048	2914	4093	邦アセチレン	348	352	349.5
4443	Sansan	1922	2252.75	1972	6047	Gunosy	698	724.75	777
6200	インソース	935	1044.5	952.5					

株式、債券、ファンド、上場ETF及び上場リートのご購入の際のご注意事項

当資料は、投資判断の参考となる情報提供のみを目的としており、個別の金融商品の投資勧誘を目的として作成または提供するものではありません。当資料は、作成者が信頼できると判断した情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性や完全性を、または、将来の経済・市況動向等を予測・保証するものではありません。また、当資料中の見解等は今後予告なく変更される場合がありますので、投資に係る最終決定はご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。金融商品等の手数料等及びリスクについては、当該商品等の上場有価証券等書面、契約締結前交付書面、目論見書及びお客さま向け資料等に記載しておりますので、よくお読みください。

【お取引時の手数料について】(営業店でお取引の場合の手数料率、税込表示)

● 国内株式の売買取引には約定代金に対して最大1.155%の売買手数料(同手数料額が2,750円に満たない場合は2,750円)をいただきます。マルチネット取引で売買いただく場合には対面取引の基本手数料から20%割引(当該金額が2,200円に満たない場合には、一律2,200円)となります。又、外国株式の売買取引には売買金額(現地における約定代金に現地委託手数料と税金等を買いの場合は加え、売りの場合は差し引いた金額)に対して最大0.88%の委託手数料(同手数料額が2,750円に満たない場合は2,750円)をいただきます。

● 非上場債券(国債、地方債、政府保証債、社債等)を当社が相手方となり、お買付けいただく場合には、購入対価のみお支払いいただきます。

● ファンドのご購入時や運用期間中には以下の費用がかかります。＜直接費用＞購入手数料(スイッチング手数料を含む)上限3.85%、換金手数料上限1.10%、信託財産留保額上限0.50%が必要となります。マルチネット取引の場合は購入手数料(スイッチング手数料を含む)、換金手数料について対面取引手数料の20%割引となります。

＜間接費用＞運用管理費用(信託報酬)上限2.50%、(注)その他の費用・手数料(監査費用、有価証券等の売買にかかる手数料、資産を外国で保管する場合の費用、信託事務に要する諸費用等)をご負担頂きます。(注)その他費用・手数料は、運用状況等により変動する為、料率の上限等を示すことができません。

● 外国株式、外国債券、外国投資信託を売買取引する際の円貨と外貨の交換レートには、約定代金に応じて当社が決定する為替スプレッドがあります。

【リスクについて】

● ＜株式、上場ETF、債券のリスク＞株式や上場ETFの売買取引については、株価の変動により投資元本を割り込むことがあります。債券は金利水準の変動等により価格が上下し、損失が生じるおそれがあります。外国株式、外国債券及び外貨建て資産に投資する上場ETFは、為替相場の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化等により投資元本を割り込むことがあります。

● ＜為替リスク＞外貨建て商品の場合、外貨建てでは投資元本を割り込んでいない場合でも、為替変動あるいは外貨交換の際の為替スプレッドにより、円換算ベースで投資元本を割り込み損失を被る場合があります。

● ＜上場リートのリスク＞リートは、不動産などで運用を行う上場投資法人です。リート市場価格については、金融経済動向、不動産市況、災害(地震、火災等)等の影響を受け変動し損失が生じるおそれがあります。分配金は不動産などからの収入に応じ変動します。金融商品取引所が定める基準に抵触し上場廃止になった場合には、取引が著しく困難になる可能性があります。

● ＜ファンドのリスク＞ファンドは、主に国内外の株式、債券、不動産投資信託証券など値動きのある有価証券等(外貨建て資産には為替リスクもあります)に投資しますので基準価額は大きく変動します。従って、投資元本が保証されているものではなく、これを割り込むことがあります。また、「毎月分配型」及び「通貨選択型」ファンドの「収益分配金に関する留意事項」及び「通貨選択型投資信託の収益イメージ」は、必ずご確認して頂きたい重要事項となっておりますので、投資信託説明書(交付目論見書)をよくお読みください。



ひろぎん証券

商号等 ひろぎん証券株式会社
加入協会 金融商品取引業者中国財務局長(金商)第20号
日本証券業協会

(帳票J-10-002 企画部2024年4月改正)

本店営業部	〒730-0031 広島市中区紙屋町1-3-8	Tel: 082-245-5000	三 次 支 店	〒728-0012 三次市十日市中2-13-26	Tel: 0824-62-3121
福 山 支 店	〒720-0812 福山市霞町1-1-1	Tel: 084-922-1321	可 部 支 店	〒731-0221 広島市安佐北区可部3-20-21	Tel: 082-815-2600
岡山営業所	〒700-0826 岡山市北区磨屋町1-3	Tel: 086-222-1561	広島西支店	〒733-0841 広島市西区井口明神1-17-4	Tel: 082-277-2700
府 中 支 店	〒726-0004 府中市府川町335-1	Tel: 0847-45-8500	東広島支店	〒739-0014 東広島市西条昭和町2-7	Tel: 082-422-3621
尾 道 支 店	〒722-0035 尾道市土堂2-7-11	Tel: 0848-23-8121	廿日市支店	〒738-0024 廿日市市新宮1-9-34	Tel: 0829-31-6611
尾 道 支 店 今治営業所	〒794-0022 今治市室屋町1-1-13	Tel: 0898-55-8280	岩 国 支 店	〒740-0018 岩国市麻里布町2-7-7	Tel: 0827-22-3161
尾 道 支 店 因島営業所	〒722-2323 広島県尾道市因島土生町2017-3	Tel: 0845-22-2291	徳 山 支 店	〒745-0034 周南市御幸通2-15	Tel: 0834-31-5350
三 原 支 店	〒723-0014 三原市城町1-25-1	Tel: 0848-67-6681	徳 山 支 店 萩営業所	〒758-0027 萩市吉田町51-11	Tel: 0838-25-2121
呉 支 店	〒737-0045 呉市本通3-5-4	Tel: 0823-21-6401	宇 部 支 店	〒755-0029 宇部市新天町2-3-3ポスティビル	Tel: 0836-31-1105

ネットセンター(インターネット取引) <https://www.hirogin-sec.co.jp>